



# 高島市公共施設等総合管理計画

---

～公共施設マネジメントのための基本的な方針～

平成 27(2015)年 3 月 策定

令和 4(2022)年 3 月 改訂

 高 島 市

---

# 目 次

---

第1章	計画の趣旨と計画期間	
1	計画の趣旨	1
2	計画期間	1
第2章	公共施設等の現況と将来の見通し	
1	公共建築物（ハコモノ施設）の状況	2
2	人口一人当たりの公共建築物延床面積	6
3	公共建築物の更新等にかかる将来コスト見込み	7
4	インフラ資産（都市基盤施設）の現状と課題	9
5	公共施設等の更新等にもなう将来負担	12
第3章	人口推計と財政状況の変化	
1	人口推計	14
2	財政状況の変化	15
第4章	公共施設等マネジメントの基本方針	
1	保有量の縮減等による破たん回避の必要性	17
2	マネジメントの推進方向	18
第5章	将来コスト削減の数値目標	
1	公共建築物保有量の縮減目標	19
2	財政面から見るコスト削減目標等	20
第6章	公共施設等の類型ごとのマネジメントの方針	
1	公共建築物の方向性	22
2	インフラ資産の方向性	22
3	公共建築物（ハコモノ施設）再編計画の策定	23
4	公共施設等の管理に関する考え方	24
第7章	マネジメントの推進体制	26
	公共建築物一覧	27
	(参考資料)	
	資料1 分類別施設の状況	29
	資料2 大規模施設一覧	34
	資料3 指定管理施設の状況	35
	資料4 これまでの施設の処分状況	37

---

# 第1章 計画の趣旨と計画期間

---

## 1. 計画の趣旨

---

本計画における「公共施設等」とは、学校、市営住宅、市民利用施設や庁舎等の「公共建築物（ハコモノ施設）」と、道路や橋りょう、上・下水道施設等の「インフラ資産（都市基盤施設）」を加えたものとします。

本市では、市制施行時に旧6町村それぞれがフルセットで整備してきた各施設を引き継いだことから多くの行政財産を有しており、公共建築物の保有水準を表す指標である「市民一人当たりの公共建築物延床面積」では、全国の人口規模類似団体や県内他市の平均と比較して大変多い状況となっています。

今後は、人口減少や少子高齢化がますます進み、社会構造や施設の利用需要も変化することが予想される中で、公共サービスのあり方を改めて見直すことが必要になってきます。さらに、これまで整備してきた公共施設等が老朽化し、近い将来、多くの施設が一斉に更新時期を迎えるにあたり、継続して維持管理するには多額の費用が必要になると見込まれます。

一方、財政面において、地方交付税の減少、人口減少等による市税収入の伸び悩み、少子高齢化の進行に伴う扶助費等の義務的経費の増大など財政状況が一層厳しくなる中で、これまでと同じ考え方で公共施設等への投資を続けていくことは難しく、施設の更新費用をいかにして適正な水準に抑えていくかが喫緊の課題であるといえます。

そこで、施設の効率的かつ効果的な維持修繕を行い長寿命化を図るとともに、保有する公共施設等の総量を最適化し、有効活用を図る取組み（公共施設等のマネジメント）を進めるため、「高島市公共施設等総合管理計画」を策定します。

## 2. 計画期間

---

公共施設等のマネジメントを進めるためには、中長期的な視点が不可欠となります。高度経済成長期以降に整備された公共建築物の多くが今後30年間に建替え時期を迎えることから、平成27年度（2015年度）から令和26年度（2044年度）までの30年間を本計画の計画期間とします。

なお、本計画は10年を単位に見直すことを基本とし、市の財政状況や制度変更など、計画を見直す必要が生じた場合にも適宜見直しを行うこととします。

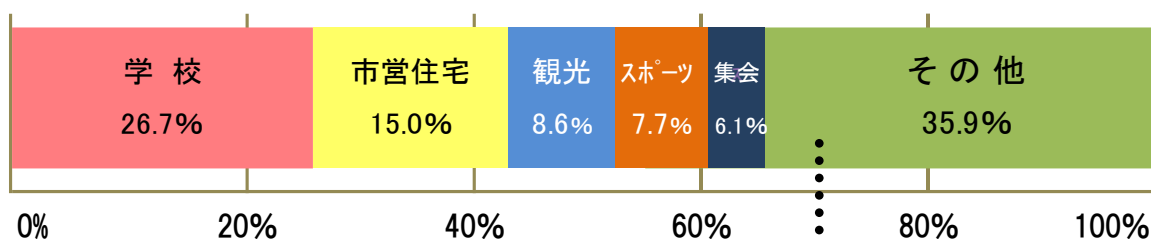
## 第2章 公共施設等の現況と将来の見通し

### 1. 公共建築物（ハコモノ施設）の状況

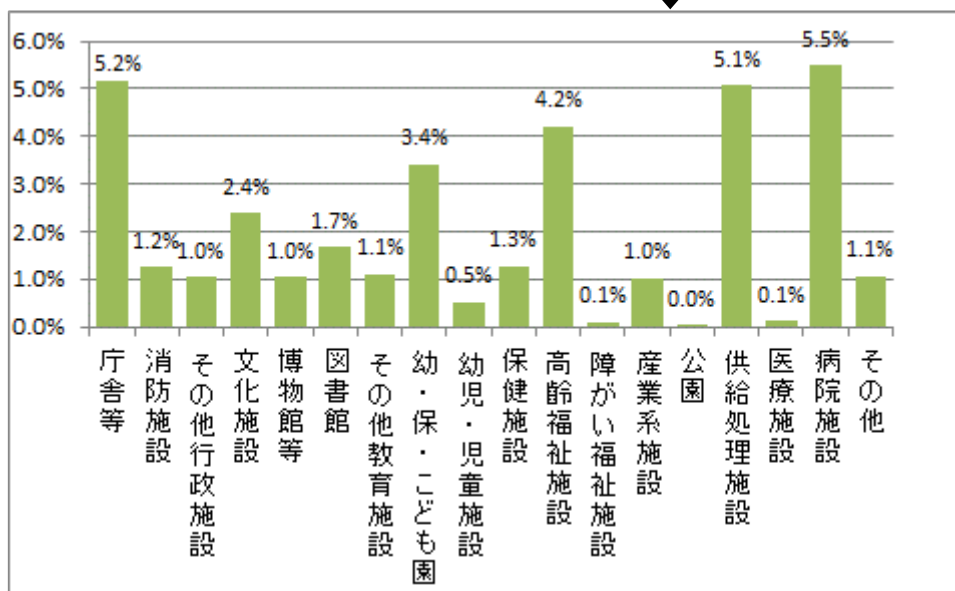
#### (1) 延床面積の状況

平成26年度末時点で、ハコモノ施設といわれる公共建築物は325施設、これらの施設の延床面積の合計は363,900㎡であったものが、令和2年度末時点では288施設、344,940㎡となっています。その内訳は、学校施設が26.7%と最も多く、次いで市営住宅が15.0%、レクリエーション・観光施設が8.6%、スポーツ施設7.7%、集会施設6.1%となっており、この5分類で全体の約3分の2を占めています。

【図表Ⅱ-1】公共建築物延床面積の割合（%）



《延床面積（その他 35.9%）の内訳》



《施設類型ごとの延床面積》

施設類型	平成27年3月末現在		令和3年3月末時点	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
小・中学校（校舎・体育館等）	43	95,866 ㎡	40	91,953 ㎡
市営住宅	44	55,757 ㎡	41	51,678 ㎡
レクリエーション・観光施設	28	31,950 ㎡	24	29,547 ㎡
スポーツ施設	23	26,751 ㎡	21	26,751 ㎡

施設類型	平成27年3月末現在		令和3年3月末時点	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
集会施設	27	22,407 m <sup>2</sup>	20	21,173 m <sup>2</sup>
庁舎等	9	20,189 m <sup>2</sup>	6	17,795 m <sup>2</sup>
病院、医療施設	6	19,432 m <sup>2</sup>	5	19,328 m <sup>2</sup>
高齢福祉施設	15	17,829 m <sup>2</sup>	11	14,511 m <sup>2</sup>
供給処理施設	11	17,646 m <sup>2</sup>	10	17,472 m <sup>2</sup>
幼稚園、保育園、こども園	8	11,762 m <sup>2</sup>	8	11,762 m <sup>2</sup>
文化ホール	3	8,206 m <sup>2</sup>	3	8,206 m <sup>2</sup>
図書館	6	5,751 m <sup>2</sup>	6	5,751 m <sup>2</sup>
保健施設	6	4,836 m <sup>2</sup>	6	4,366 m <sup>2</sup>
産業系施設	20	5,209 m <sup>2</sup>	9	3,475 m <sup>2</sup>
消防施設	4	4,184 m <sup>2</sup>	5	4,294 m <sup>2</sup>
博物館、資料館	12	4,221 m <sup>2</sup>	11	3,610 m <sup>2</sup>
その他施設（斎場、駐輪場等）	30	3,674 m <sup>2</sup>	30	3,693 m <sup>2</sup>
その他行政施設（防災センター）	6	3,583 m <sup>2</sup>	6	3,583 m <sup>2</sup>
その他教育施設（給食センター・教育支援センター）	4	3,376 m <sup>2</sup>	5	3,781 m <sup>2</sup>
幼児・児童施設	2	831 m <sup>2</sup>	3	1,811 m <sup>2</sup>
障がい福祉施設	1	300 m <sup>2</sup>	1	300 m <sup>2</sup>
公園施設	17	140 m <sup>2</sup>	17	100 m <sup>2</sup>
計	325	363,900 m <sup>2</sup>	288	344,940 m <sup>2</sup>

#### 《施設保有量の推移》

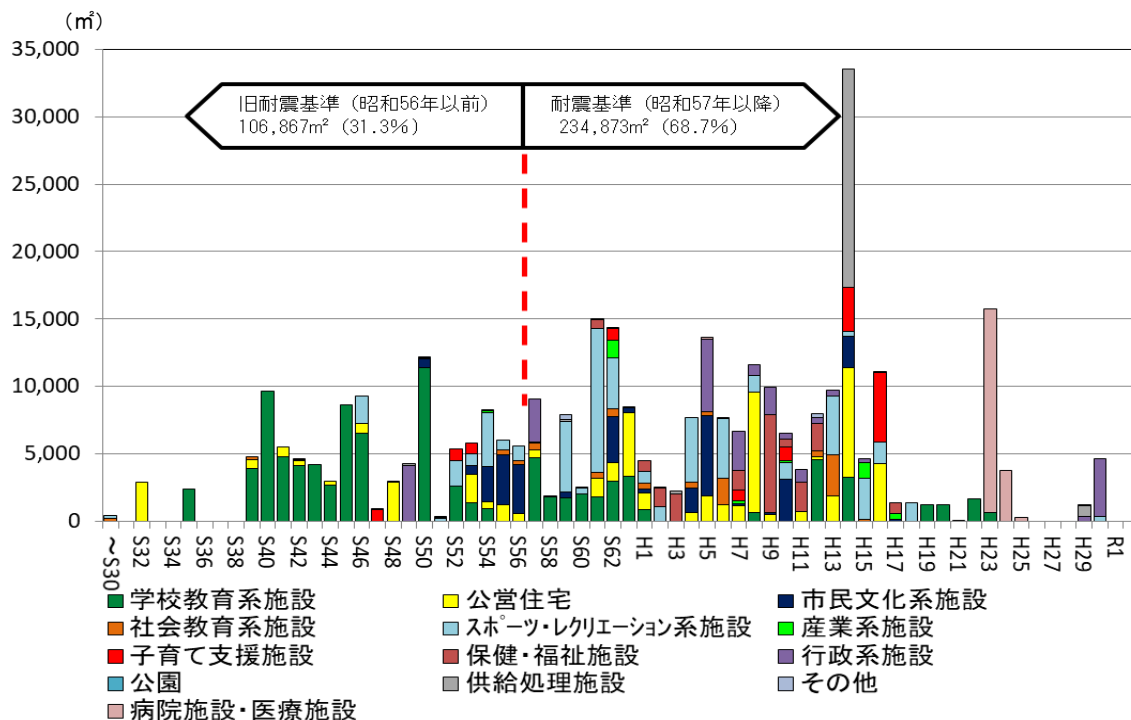
	計画策定時	H29年度末	H30年度末	R1年度末	R2年度末
延床面積	363,900 m <sup>2</sup>	355,613 m <sup>2</sup>	352,797 m <sup>2</sup>	347,280 m <sup>2</sup>	344,940 m <sup>2</sup>
計画策定時比	—	97.7%	96.9%	95.5%	94.8%

（令和4年3月改訂時追記）

#### （2）建築年度別の延床面積の状況

建築年度別の延床面積の状況では、昭和40年代と50年代前半には集中して学校教育系施設を整備しており、合併後は学校施設の屋内運動場などの建替を順次進めてきました。また、昭和59年度から平成6年度の間には、スポーツ・レクリエーション系施設を集中して整備しており、平成8年度からは、公営住宅、保健・福祉施設、子育て支援施設を中心とした施設を整備しています。さらに、合併前の数年間にも多くの施設を整備しています。

【図表Ⅱ-2】 建築年度別の延床面積の状況



(3) 耐震基準・耐震化の状況

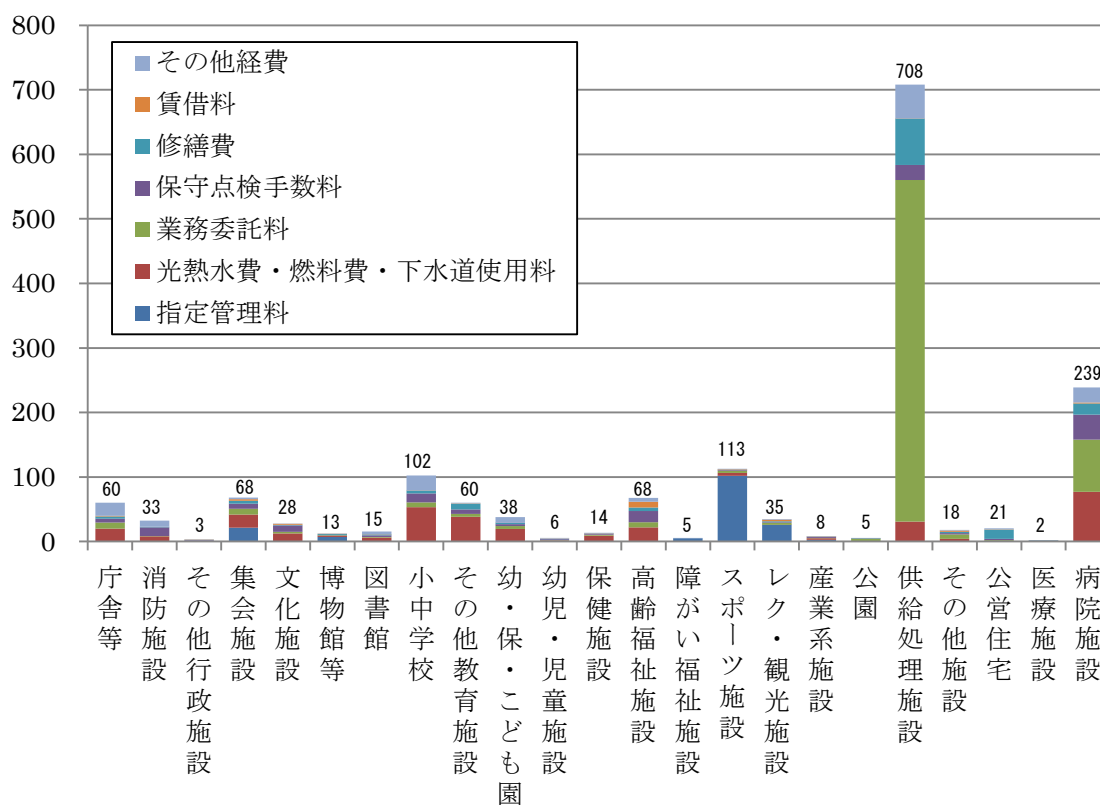
昭和56年6月に建築基準法の耐震基準が改正されています。本市の公共建築物の約31.3%は旧耐震基準で建設したもので、主に学校教育系施設、子育て支援施設、公営住宅、行政系施設がありますが、学校施設は重点的に耐震化を進めた結果、平成23年度に完了し、保育園についても平成25年度には耐震化工事が完了しています。また、行政系施設における庁舎については、分散している本庁機能の統合や各支所における機能移転等により平成30年度には耐震化が完了し、耐震化対策が課題となっていた平成26年度末の状況に比べると耐震改修が未実施の建築物の割合は改善されている状況にあります。

(4) 維持管理経費の状況

令和2年度決算における公共建築物の維持管理費の合計は約16.6億円であり、その内訳を見てみると、環境センターのごみ処理棟休止に伴い、ごみ搬出経費などを含む業務委託料が増加しているものの、修繕費や光熱水費等は大幅に減少しています。ただし、その他の施設における修繕費については、老朽化に伴い増加しています。分類別には供給処理施設が約7.1億円と最も多く、次いで、病院施設、スポーツ施設、小中学校、集会施設および高齢福祉施設の順となっています。

【図表Ⅱ-3】 年間の公共建築物の維持管理経費（令和2年度）

（百万円）



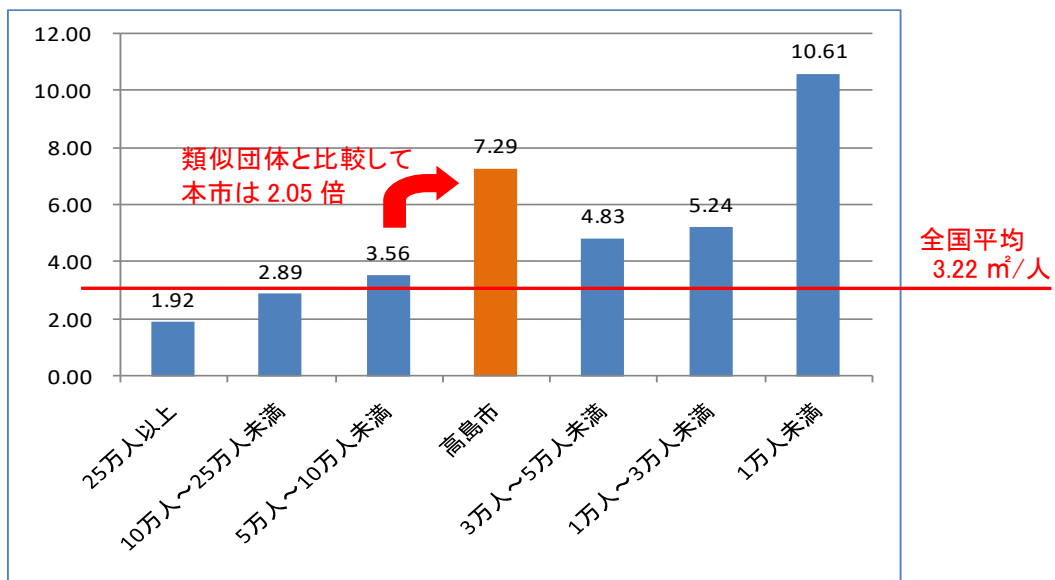
性質別による維持管理経費の内訳	項目	平成25年度決算	令和2年度決算
	指定管理料	202,866千円	164,611千円
	光熱水費・燃料費・下水道使用料	601,742千円	335,454千円
	業務委託料	176,522千円	679,684千円
	保守点検手数料	191,604千円	155,385千円
	修繕費	296,099千円	142,216千円
	賃借料	23,548千円	23,215千円
	その他経費	183,972千円	161,111千円
	合計	1,676,353千円	1,661,676千円

## 2. 人口一人当たりの公共建築物延床面積

計画策定時における本市が所有する公共建築物の延床面積を人口で除した「市民一人当たりの延床面積」は7.29㎡となっています。総務省の調査による全国自治体の人口一人当たりの延床面積の平均値は3.22㎡であり、人口規模別による5～10万人の自治体では3.56㎡、3～5万人の自治体では4.83㎡となっており、類似団体と比較して極めて高い状況であり、また、本市を除く県内他市の平均（3.69㎡）と比較しても約2倍となっている状況です。

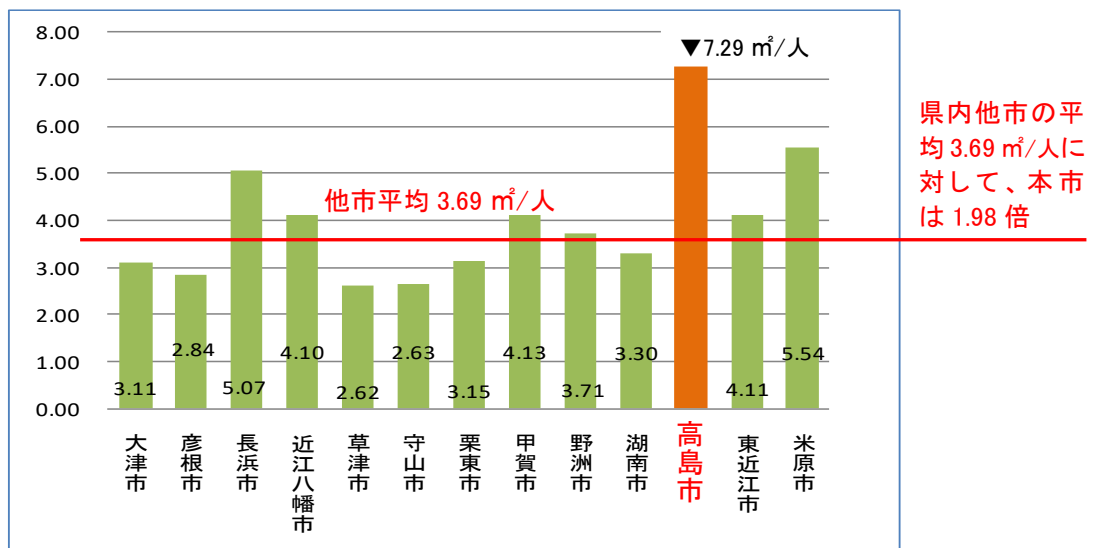
今後は投資財源が不足し公共建築物の老朽化が進む中で、必要不可欠な施設を適正に管理していくためには、総量抑制や再編が避けて通れない課題となってきます。

【図Ⅱ-4】全国自治体の人口一人当たりの公共建築物延床面積（㎡）



(公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査 (H24.3 総務省))

【図Ⅱ-5】県内各市の人口一人当たりの公共建築物延床面積（㎡）



(平成24年度公共施設状況調 (総務省) より集計)

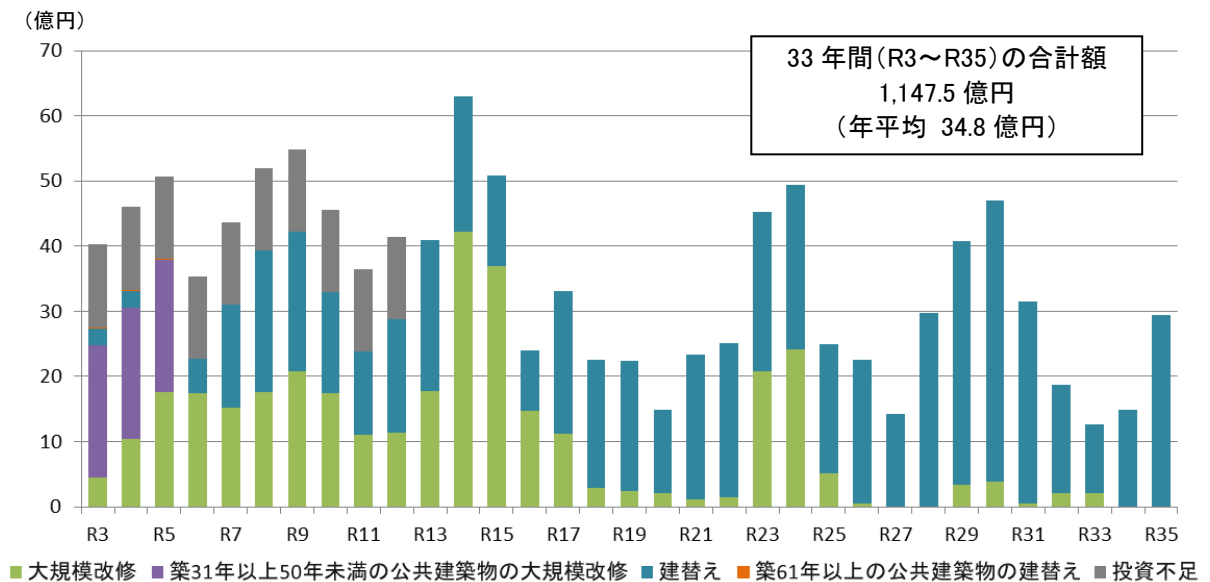


### 3. 公共建築物の更新等にかかる将来コストの見込み

#### (1) 単純更新した場合

公共建築物の更新問題は全国的な課題となっており、総務省は更新費用試算ソフトを公表しています。令和2年度末現在の保有状況においてこのソフトを用いた再試算では、現在の施設をそのまま保有する場合、令和35年度までの33年間（計画策定時は40年間）で1,147.5億円（年平均で34.8億円）の更新費用が必要となります。内訳では、築31年以上50年未満で大規模改修が未実施の施設が多数あり、これらの大規模改修費が差し迫って必要となり、さらに、令和7年度からは本格的に施設の建替え時期が到来し、毎年度20億円以上の費用が必要になると見込まれます。

【図表Ⅱ-6】公共建築物の大規模改修、建替えにかかる将来コストの推移



(試算条件)

大規模改修：実施年数は築30年とし、改修期間は2年とする。また、現時点で積み残している改修は、10年の間に実施する。

建替え：築60年で建替えとし、建替え期間を3年とする。また、現時点で積み残している建替えは、10年の間に実施する。

単価設定：大規模改修および建替えに要する費用の単価は、次表のとおりとする。なお、単価には建替えに伴う解体、仮設移転費用、設計料等を含む。(出典：「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」財団法人自治総合センター)

※平成26年～令和2年度までの更新等に対する投資的経費の不足額は、10年の間に実施する。

公共建築物分類別大規模改修・建替え単価表

公共建築物分類	大規模改修単価	建替え単価
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設 医療施設、行政系施設	25万円/㎡	40万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設 供給処理施設、その他	20万円/㎡	36万円/㎡
学校教育系施設、子育て支援施設、公園	17万円/㎡	33万円/㎡
公営住宅	17万円/㎡	28万円/㎡

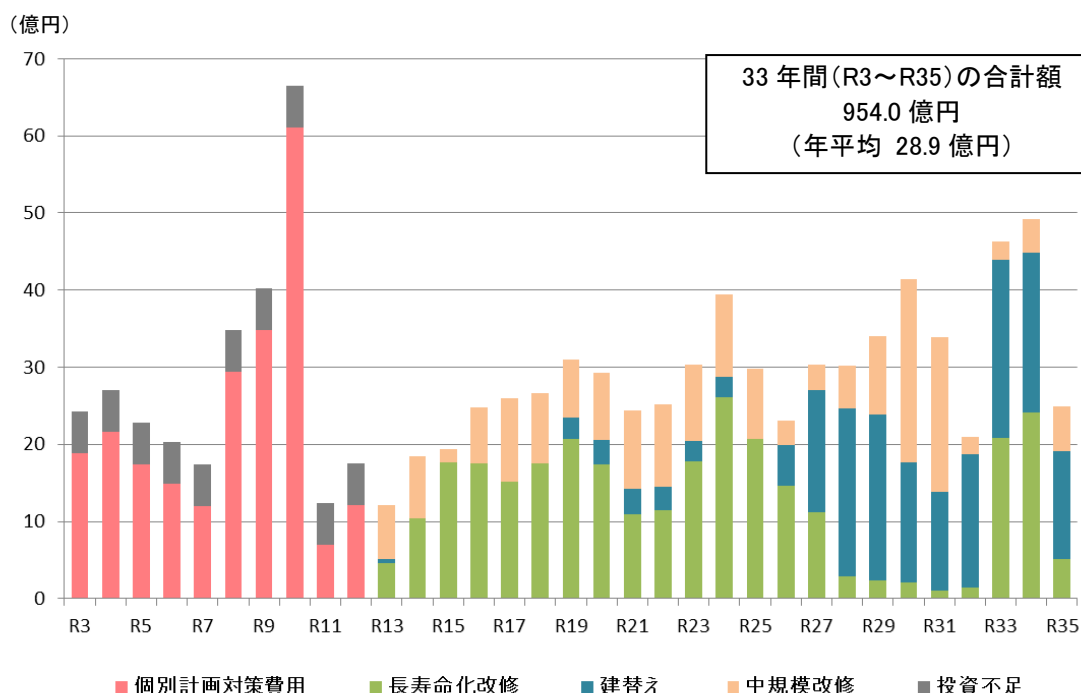
## (2) 長寿命化対策を前提とした場合 (令和4年3月改訂時追記)

現状保有する施設について、策定済の個別施設計画をもとに検討し、その対策費用と以下のイメージ図のように試算する場合、令和35年度までの33年間で954.0億円(年平均で28.9億円)の更新費用が必要となると見込まれます。

### 【イメージ図】



【図表Ⅱ-7】公共建築物の大規模(長寿命化)改修、建替えにかかる将来コストの推移



### (試算条件)

大規模(長寿命化)改修: 実施年数は築40年とし、改修期間は2年とする。また、現時点で積み残している改修は、10年の間に実施する。

建替え: 築80年で建替えとし、建替え期間を3年とする。また、現時点で積み残している建替えは、10年の間に実施する。

中規模改修: 実施年数は築20年および60年とし、建替え費用の約2割として想定する。

単価設定: (1) 単純更新した場合と同様とする。

※10年間は策定済の個別計画の対策費用とする。

※平成26年~令和2年度までの更新等に対する投資的経費の不足額は、10年の間に実施する。

### (3) 対策の効果額 (令和4年3月改訂時追記)

単純更新した場合と長寿命化対策を前提とした場合を比較すると、令和35年度までの33年間で、総額193.5億円(年平均5.9億円)の対策効果額が想定されます。この対策効果額はあくまでも当該期間内における試算であるものの、当市における建替え費用を鑑みると、今後は保有量の縮減とあわせ、将来にわたって必要となる施設に対して長寿命化対策を講じていくことが求められます。

	単純更新		長寿命化		対策効果額	
	33年累計	単年平均	33年累計	単年平均	33年累計	単年平均
公共建築物	1,147.5 億円	34.8 億円	954.0 億円	28.9 億円	▲193.5 億円	▲5.9 億円

## 4. インフラ資産(都市基盤施設)の現状と課題

### (1) インフラ資産の状況

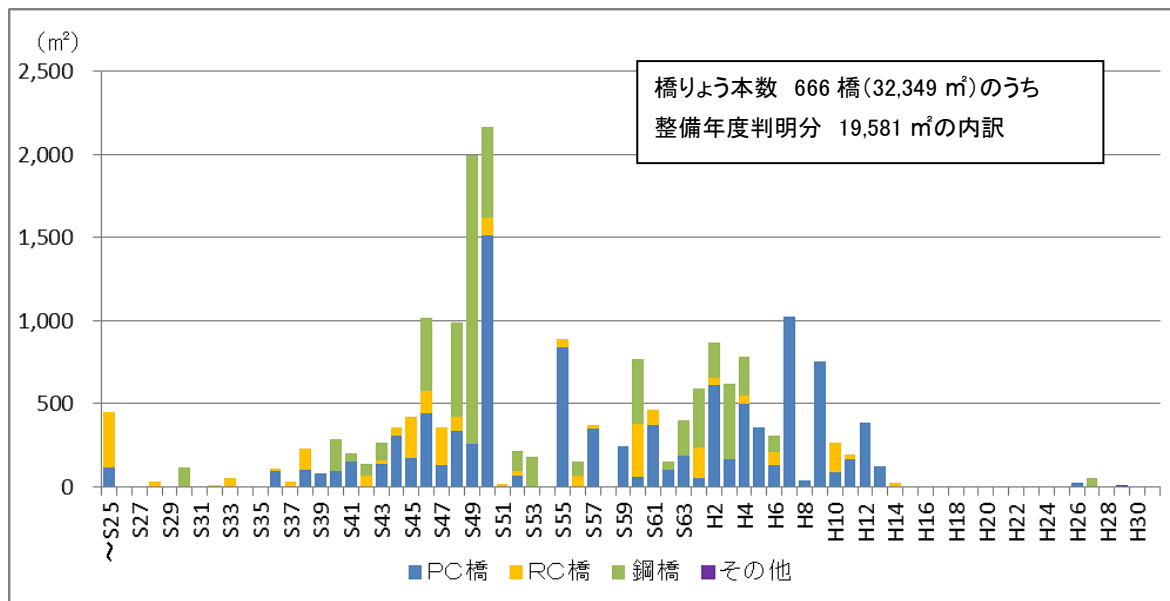
道路、橋りょうや上・下水道施設など、都市基盤施設であるインフラ資産は、産業、経済、文化の発展の基盤であり、市民の生活や地域経済の活動を支えています。今後は、インフラ資産の老朽化が更に進行する中で、近年頻発する自然災害などの有事における道路ネットワークの確保はもとより、平常時においても安心・安全な市民生活を確保するため、これらの既存ストックを最適に維持管理していくことが重要となります。

【図表Ⅱ-8】主なインフラ資産の保有量

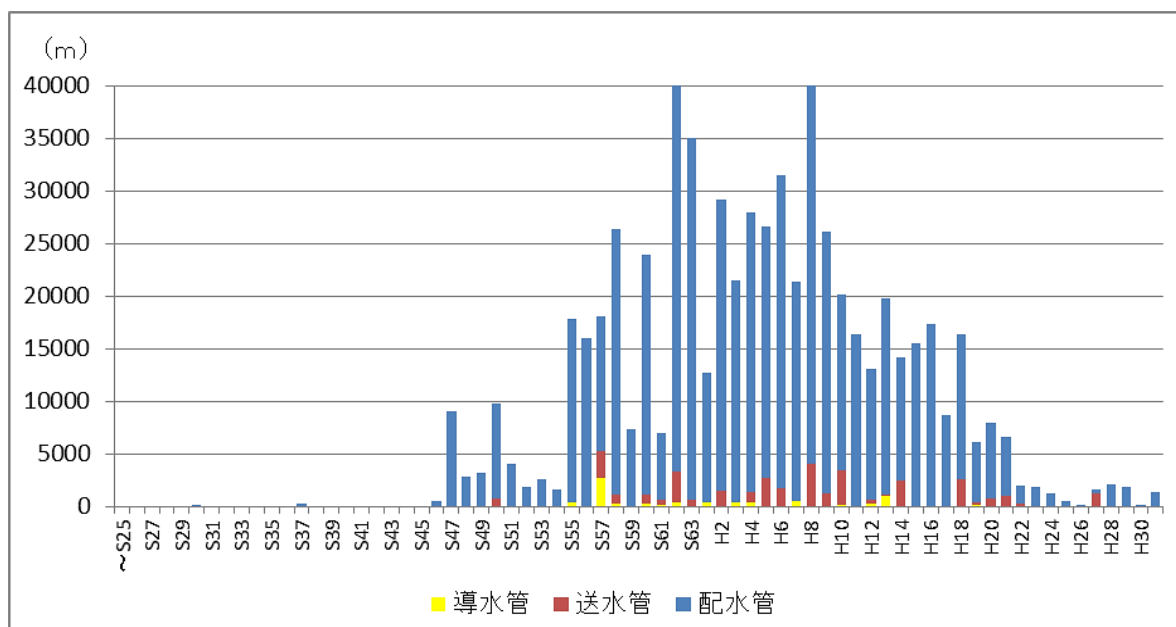
種別	主な施設	平成26年3月末現在	令和2年3月末現在
		施設数	施設数
道路	1級市道延長	85.0 k m	81.6 k m
	2級市道延長	112.2 k m	103.4 k m
	その他市道延長	613.0 k m	576.3 k m
橋りょう	橋りょう本数	764 橋	666 橋
上水道	管路延長	689.9 k m	635.9 k m
下水道	管路延長	556.9 k m	564.0 k m

※平成27年度に旧道路台帳統合整備業務により路線の見直しが行われています。

【図表Ⅱ-9】 橋りょうの構造別年度別整備面積



【図表Ⅱ-10】 上水道管の年度別整備延長



## (2) インフラ資産の更新と財政負担

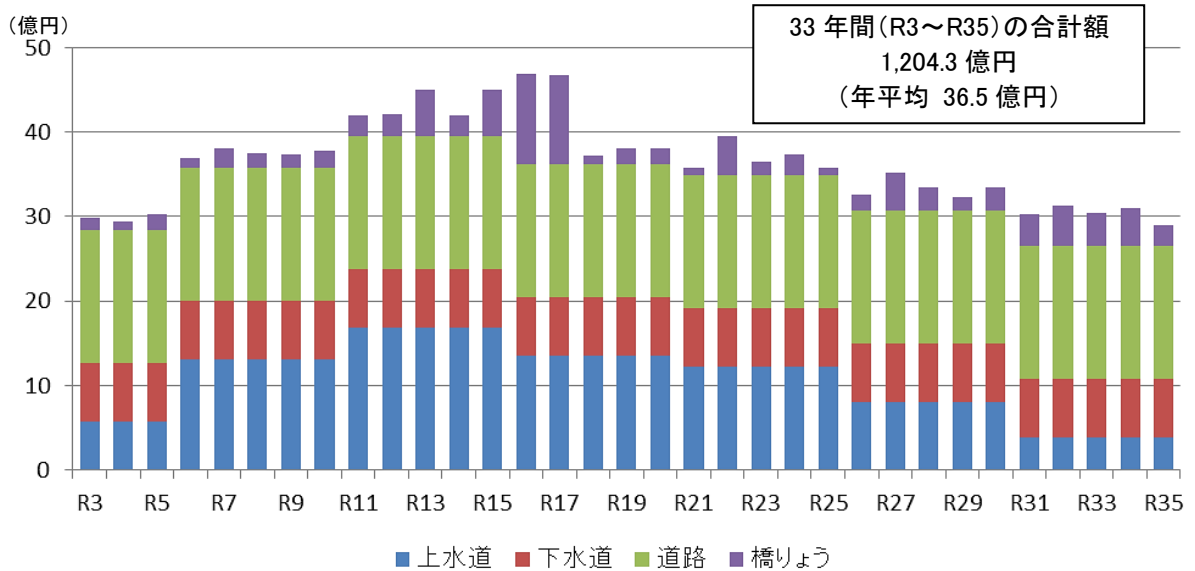
インフラ資産について、同ソフトの試算により令和35年度までの33年間（計画策定時は40年間）で必要となる更新費用を再算出すると以下のとおりとなります。

インフラ資産は、市民生活に必要不可欠なものであるため、整備状況や老朽化の度合い等から安全性や保全の優先度を考慮し、計画的な更新・補修を行う必要がありますが、更新費用の捻出が大きな課題であります。

【図表Ⅱ-11】 インフラ資産の更新にかかる将来コスト推計

種 別	令和 35 年度までの 33 年間に必要な更新費用	1 年当たりの更新費用
道 路	520.8 億円	15.8 億円
橋りょう	99.4 億円	3.0 億円
上 水 道	355.1 億円	10.8 億円
下 水 道	229.0 億円	6.9 億円

【図表Ⅱ-12】 インフラ資産の更新にかかる将来コスト推移



インフラ資産の更新費用にかかる試算条件と更新単価

分類	試算条件		更新単価
道路	舗装打換えによる算定 (耐用年数 15 年)		4,700 円/m <sup>2</sup>
橋りょう	構造別年別面積による算定 (耐用年数 60 年)	P C 橋	425 千円/m <sup>2</sup>
		鋼橋	500 千円/m <sup>2</sup>
上水道施設	管径別年度別延長による算定 (耐用年数 40 年)	管路 構造物	高島市水道事業基本計画に 基づく既存施設の更新需要額
下水道施設	管径別延長による算定 (耐用年数 50 年)	~250 mm	61 千円/m
		251~500 mm	116 千円/m

(試算条件)

【道路】単価は、「道路統計年報 2009」(全国道路利用者会議)に示された舗装補修事業費を舗装補修事業量で割って算定されたものから設定。

【橋りょう】単価は、道路橋の工事実績(道路橋)に示された道路橋の工事実績により実績ベースで設定する。

【下水道】単価は、更生工法を前提とし、流域別下水道整備総合計画調査指針等を参考に設定。

## 5. 公共施設等の更新等にもなう将来負担

公共施設等を耐用年数および長寿命化対策により耐用年数を超えて使用し、すべてを同規模で更新すると仮定した場合、総務省の更新費用試算ソフト等によると、令和35年度までの33年間（計画策定時は40年間）で2,158.3億円、年平均にして約65億円の費用が必要になると見込まれ、計画策定時における過去5年間（H21-H25）の投資的経費の実績と比較して約3倍の費用が必要となります。

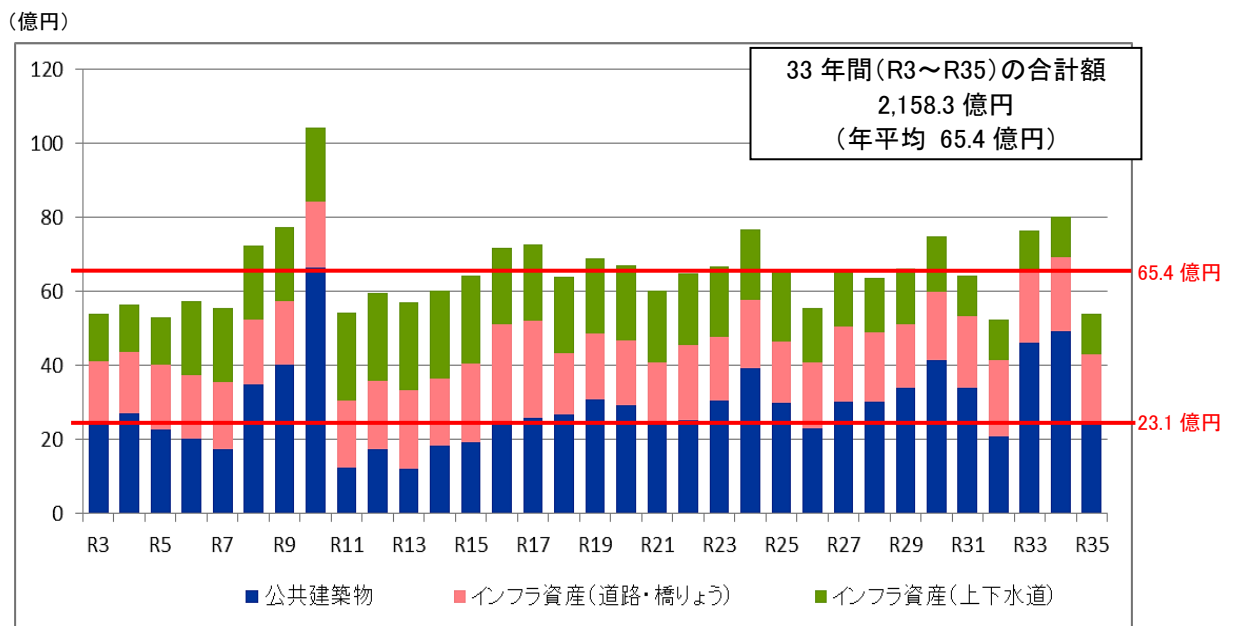
本市の予算規模において、将来的に年平均で約65億円の投資を続けることは不可能であり、従来の改修や更新のやり方を続けていくと市の財政が破たんするか、もしくは他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが避けられない状況であるといえます。

そのため、公共建築物（ハコモノ施設）については、施設の機能を維持することを前提に施設保有量の縮減に取り組む必要があり、また、インフラ資産についても、ライフサイクルコストの縮減を図るための計画的・効率的な改修、更新に取り組む必要があります。

【図表Ⅱ-13】 投資的経費の実績と将来コスト推計との比較（公共建築物及びインフラ資産）

	H21-H25 実績	将来コスト推計		倍率 B/A
	単年平均 A	33年累計	単年平均 B	
公共建築物	9.5 億円	954.0 億円	28.9 億円	3.0
インフラ資産(道路・橋りょう)	5.5 億円	620.2 億円	18.8 億円	3.4
インフラ資産(上下水道)	8.1 億円	584.1 億円	17.7 億円	2.2
合 計	23.1 億円	2,158.3 億円	65.4 億円	2.8

【図表Ⅱ-14】 将来の更新費用の推計（公共建築物及びインフラ資産）



(参考) 有形固定資産減価償却率の推移および予測

有形固定資産の減価償却率は、有形固定資産の取得価格のうち減価償却累計額の割合を算出しており、耐用年数に対してどれくらい経過しているか把握することができます。令和2年度の県内平均が約56%に対し、当市は約64%となっており、老朽化が進んでいる状況と言えます。

なお、令和3年度以降はあくまでも長期財政計画などを踏まえた推計値ですが、令和12年度には70%を超え、老朽化が極めて進んでいる状況となることが予想されます。

(実績)

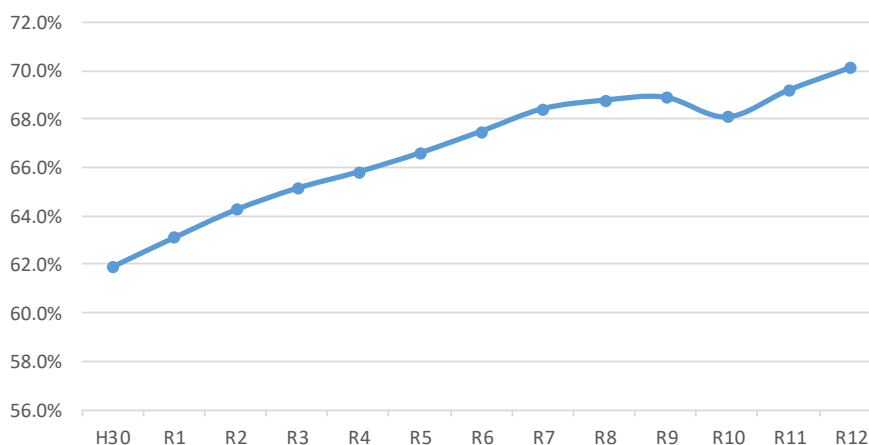
H30	R1	R2
62.4%	63.1%	64.3%

(予測)

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
65.1%	65.8%	66.6%	67.5%	68.4%	68.8%	68.9%	68.1%	69.2%	70.1%

(算定式)

$$\text{有形固定資産の減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産合計} - \text{土地等の非償却資産} + \text{減価償却累計額}}$$



(令和4年3月改訂時追記)

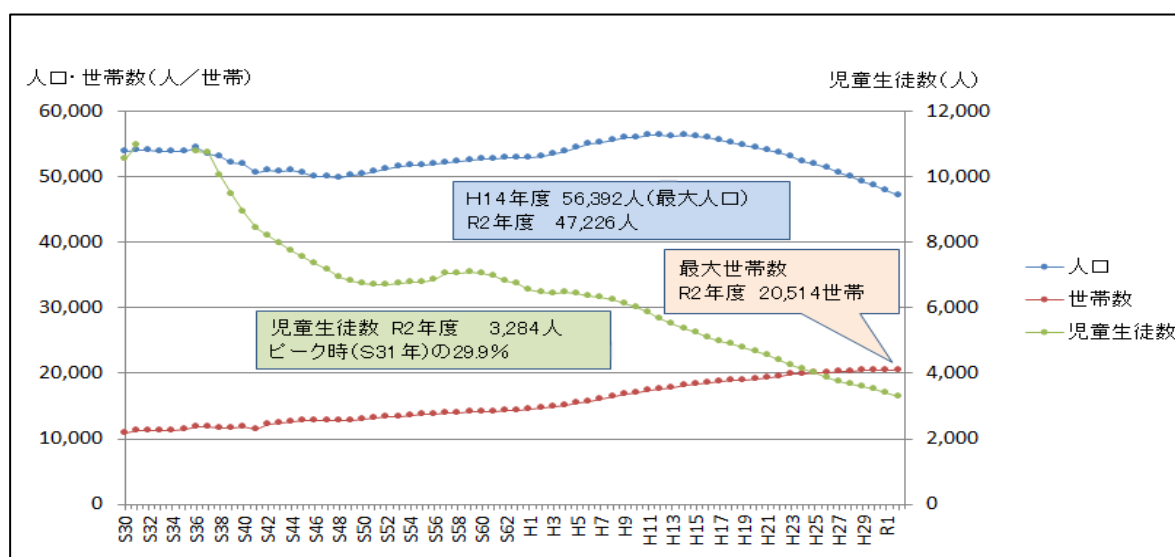
# 第3章 人口推計と財政状況の変化

## 1. 人口推計

### (1) 人口・世帯数の推移

本市の過去50年間の人口は概ね5万人前後で推移していましたが、平成14年度の56,392人をピークに減少が続き、令和2年度末では47,226人(51,903人)となっています。また、児童生徒数は昭和31年に10,981人でしたが、昭和38年から減少に転じ、平成以降は減少傾向が顕著となり、令和2年度には3,284人(4,002人)とピーク時の29.9%(36.4%)にまで減少しています。一方、世帯数は増加傾向が続き、令和2年度末で20,514世帯(20,060世帯)となっており、1世帯当たりの人数は2.30人(2.58人)となっています。(計画策定時の平成25年度状況)

【図表Ⅲ-1】人口と世帯数の推移(住民基本台帳 各年度末3/31現在)



### (2) 将来人口の動向

国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成30(2018)年推計)による本市の人口は、24年後の令和27年には32,555人まで減少すると予想されています。人口構成では、年少人口はますます減少し、高齢者人口は平均寿命の延びを背景に増加が続き、令和27年には生産人口を上回ると予想されています。これにより、公共施設等の利用需要も変化してくるものと考えられます。

区分	平成2年 (1990年)	平成17年 (2005年)	平成26年 (2014年)	令和3年 (2021年(A))	令和27年 (2045年(B))	増減 (B-A)
総人口(人)	53,032人	55,985人	51,746人	47,009人	32,555人	△14,454人
高齢者人口割合(65歳～)	18.1%	24.0%	30.3%	35.8%	46.4%	+10.6ポイント
生産人口割合(15～64歳)	62.9%	62.2%	58.0%	53.8%	44.7%	△9.1ポイント
年少人口割合(0～14歳)	19.0%	13.8%	11.7%	10.4%	8.9%	△1.5ポイント

(H2は国勢調査、H17・H26・R3は住民基本台帳人口(10/1現在))



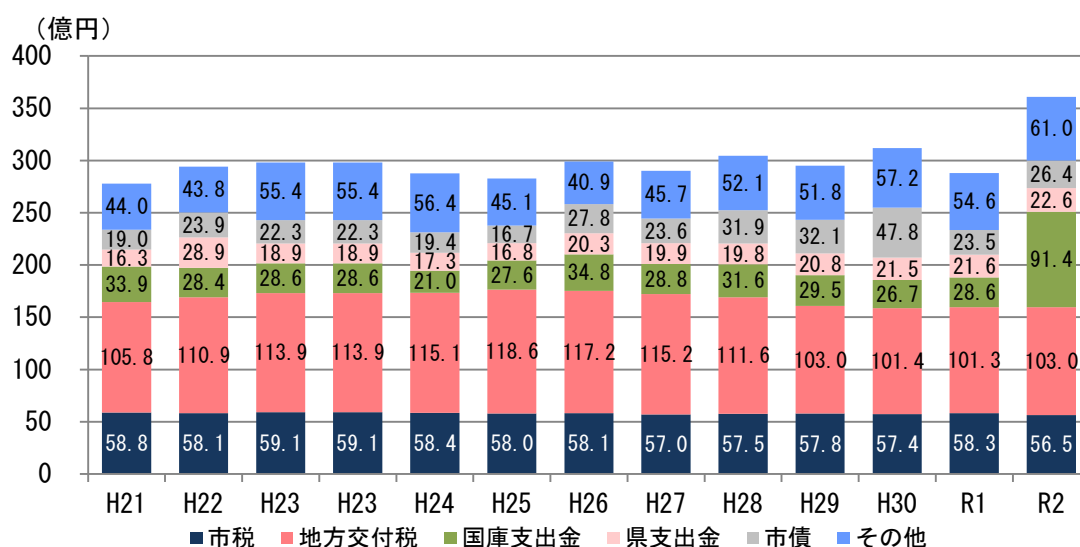
## 2. 財政状況の変化

### (1) 歳入の状況

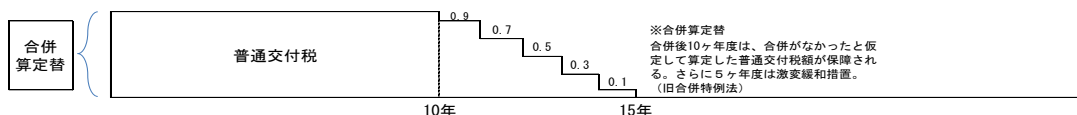
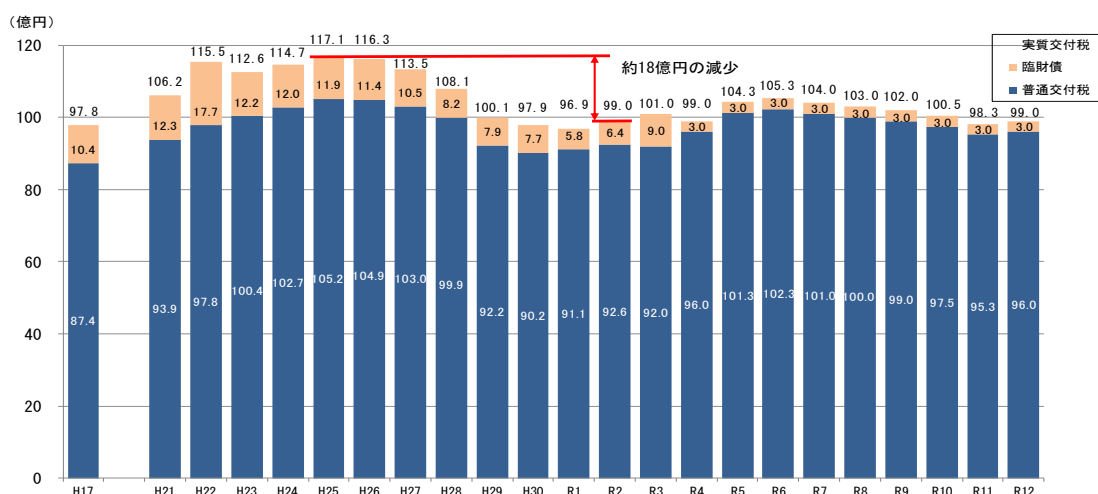
令和2年度の普通会計決算額（360億9,173万円）のうち、自主財源割合は27.5%、依存財源割合は72.5%となっており、新型コロナウイルス感染症に伴う補助金や交付金をはじめとする国庫支出金が増加したなかでも、地方交付税が28.5%（例年は40%前後）を占めています。地方交付税は合併特例措置の終了による段階的な縮小はあったものの、社会環境などに対応するために必要な経費や合併特例債の元利償還にかかる普通交付税算入等により約18億円の減少に留まっています。

地方交付税の推計については、令和6年度までの期限である合併特例債の借入額増額による元利償還の普通交付税算入等により、令和6年度までは増額となる見込みですが、令和7年度以降は元利償還額の減少とともに減少し、財政は一層厳しさを増してきます。

【図表Ⅲ-2】普通会計歳入決算額の推移



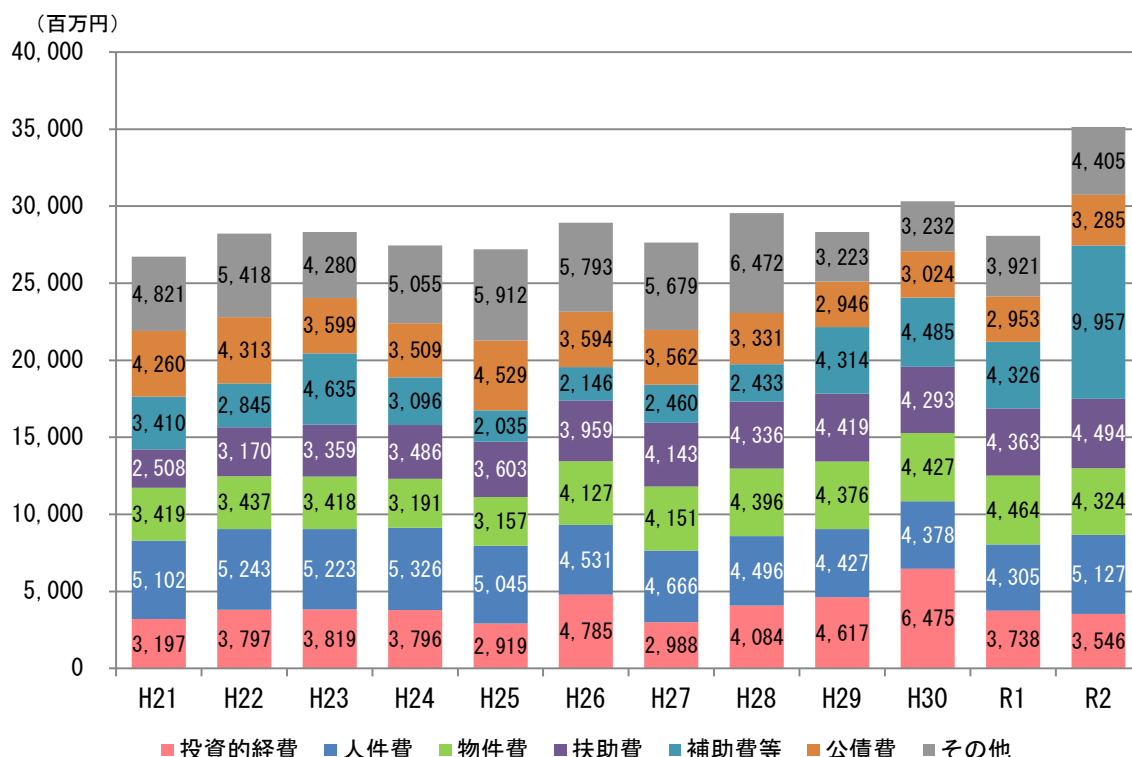
【図表Ⅲ-3】地方交付税の推移（R3以降は推計値）



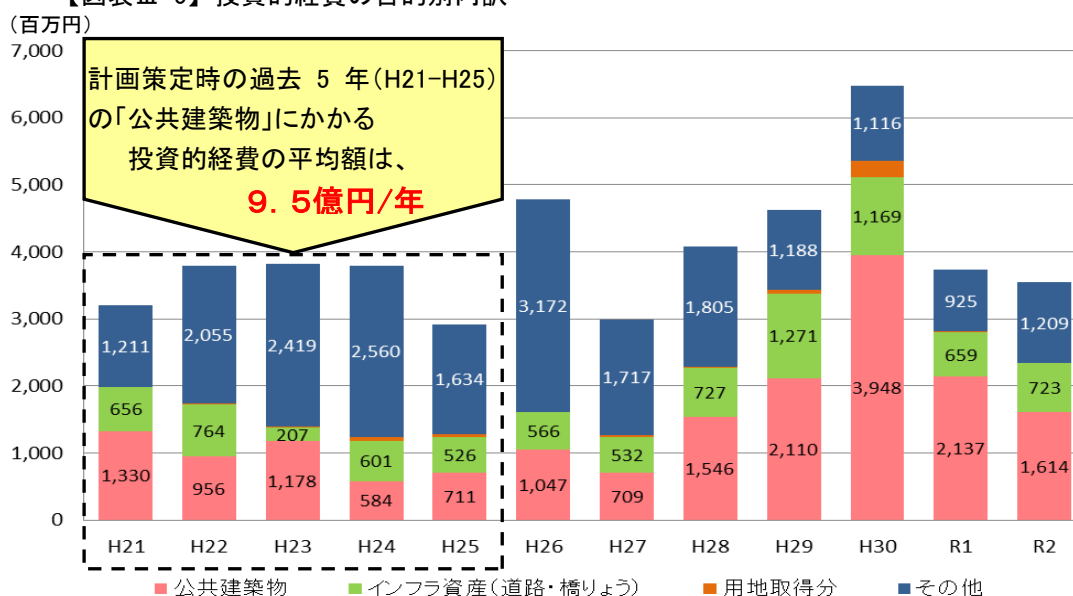
## (2) 歳出の状況

令和2年度普通会計の歳出決算額のうち、公共建築物やインフラ資産（上下水道を除く。）の維持更新等にかかる投資的経費は約35億5千万円となっています。さらに、35億5千万円の投資的経費のうち、公共建築物の維持更新にかかる経費は16億1千万円となっています。今後は、合併特例債の期限満了や地方交付税の減少等が見込まれるなかで、公共施設等の維持更新のための財源を確保することがますます厳しくなってくることが予想されます。

【図表Ⅲ-4】普通会計歳出決算額の性質別内訳



【図表Ⅲ-5】投資的経費の目的別内訳



## 第4章 公共施設等マネジメントの基本方針

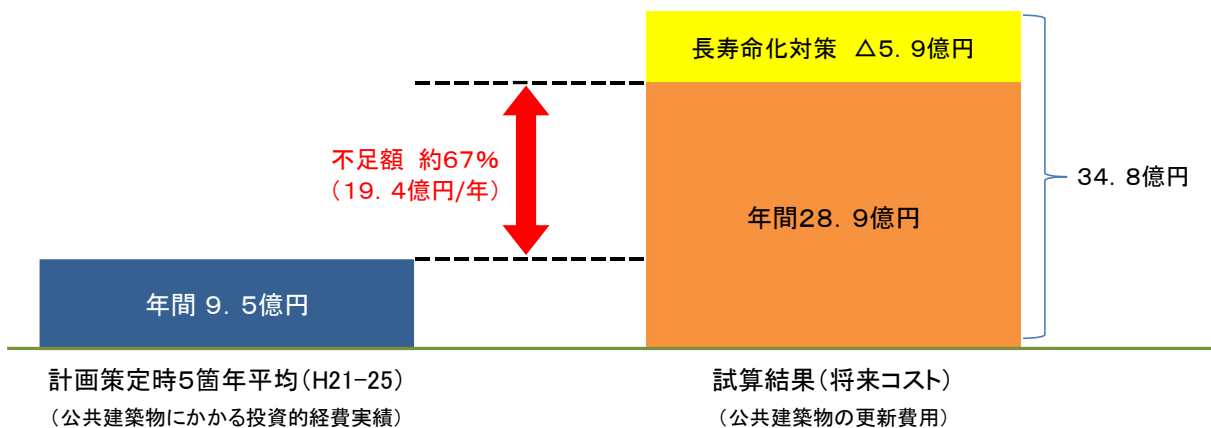
### 1. 保有量の縮減等による破たん回避の必要性

昭和40年代から昭和50年代にかけて整備してきた公共施設等の老朽化が進んでいます。今後は急速にこれらの大規模改修や建替えの大きな波が訪れ、改修・更新にかかるコストは莫大になり、従来の改修・更新のやり方を続けていくと市の財政が破綻するか、もしくは他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが避けられない状況であるといえます。そのため、この先の公共施設等の改修・更新時期を見通し、中長期的な視点により、廃止や譲渡、売却等も視野に入れた計画的・戦略的なマネジメントに、直ちに取り組まなければならない時期にきています。

特に、現状で市が保有している公共建築物を将来もそのまま保有し、長寿命化対策を講じたうえで同等規模での建替えを行うと仮定した場合には、前述の将来コスト推計のとおり、令和35年度までの33年間（計画策定時は40年間）で954億円、年平均で28.9億円の費用が必要になります。

これに対し、計画策定時の過去5年間（平成21～25年度）で公共建築物の更新や整備に支出した投資的経費は、年平均で9.5億円であり、試算した更新費用との比較では、年平均で約19億円が不足することになります。

【図表IV-1】公共建築物の大規模（長寿命化）改修、建替えにかかる将来コストの不足額



つまり、長寿命化対策を講じたとしても将来コストの約3割（33%）しかカバーできず、約7割の財源不足が生じることになります。さらに、少子高齢化や人口減少の進展に伴って、将来的に税収減や扶助費等の支出増が見込まれること、地方交付税の減少や合併特例債の期限満了などを勘案すると、公共建築物の改修・更新のための財源を確保することは極めて困難であるため、保有量の縮減等により将来コストを削減し、将来にわたって必要となる施設を適正に維持更新していくことが必要となります。

## 2. マネジメントの推進方向

公共建築物には築50年を経過する施設が出始めていますが、今後もこれらの施設を良好な状態で使用していくためには、適切な維持修繕に加え、バリアフリーへの対応や耐震化、省エネルギー性能の向上対策など、時代の変化に応じた対応を図るための大きな改修工事も必要になります。

また、生活に必要不可欠なインフラ資産である道路・橋りょう、上水道、下水道などは、安全性を確保した安定的な供用が求められることから、老朽化が進んでいる部分の計画的な更新が必要になってきます。

公共施設等は数十年にわたって利用するものであり、更新（建替え）は長期的な視点での政策判断が必要となります。将来世代に過度な負担を強いることがないように、財政構造の変化、公共施設等への市民ニーズの量や質の変化を捉え、必要となる施設を将来にわたり維持するため、公共施設等のマネジメントの推進方向を次のとおり定めます。

### ■ マネジメントの推進方向 ■

#### 基本方針

- ①次世代に継承可能な施設保有（保有量の縮減）
- ②将来にわたり必要な施設の計画的な維持更新（長寿命化の推進）

#### ■ 公共建築物（ハコモノ施設）

- ①新規整備は原則として行わない。
  - ・将来にわたり必要な施設の有効活用や適正な維持修繕により長寿命化を図る。
- ②更新（建替え）を行う場合は複合施設とする。
  - ・施設を更新するにあたっては、遊休施設の活用等を図るとともに、複合化により機能を維持することを前提として総量の縮減に努める。
- ③施設総量（総床面積）を縮減する。
  - ・将来コスト削減のための数値目標を定める。
  - ・建物性能、維持管理コスト、利用状況等を検証して再編計画を策定する。

#### ■ インフラ資産（都市基盤施設）

- ①ライフサイクルコストの縮減に努める。
  - ・インフラ資産は、災害時における道路ネットワークの確保、平常時における安心安全な市民生活や地域の経済活動を支える基盤であるため、既存ストックを最適に維持管理しライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。そのため、各インフラ資産の特性に見合った管理水準を設け、計画的・効率的な改修、更新を推進するために、種別ごとに「(仮称) 長寿命化計画」を策定する。

## 第5章 将来コスト削減の数値目標

### 1. 公共建築物保有量の縮減目標

将来的に行政人口の減少が予測される中で、施設の総量が縮小しない場合には、人口一人当たりの面積（言い換えれば、一人当たりが負担する施設の維持更新費）は、現在以上に増加することになります。

本市の計画策定時（平成26年10月1日時点）の人口は51,746人であり、この人口区分における全国自治体の「人口一人当たりの公共建築物延床面積」は3.56㎡であり、また、県内他市における同面積は3.69㎡となっています。これに対し、本市における計画策定時の同面積は7.29㎡であることから、全国の類似団体の平均値を「人口基準で見た目標とする公共建築物保有量」とする場合、本市における公共建築物の総床面積を50%削減する必要がある、これにより保有量の適正化と将来負担コストの50%削減をめざします。

#### 「人口一人当たりの公共建築物延床面積」

全国類似団体平均：3.56㎡（県内他市平均は3.69㎡）

$3.56\text{㎡} / 7.29\text{㎡} (\text{高島市}) - 1 = -0.51$ （≒ 50%削減）

#### ■ 将来コスト削減にかかる数値目標 ■

施設保有量を今後30年間（令和26年度まで）で50%削減

（総床面積ベースで約182,000㎡（平成26年度比）を削減）

#### ■ 公共建築物保有量削減のための基本的な考え方

計画期間の30年間に築60年を経過する公共建築物が全体面積の約40%あり、さらに、築60年未満であっても老朽化により更新が必要となる場合もあるなど、急速に迫る公共建築物の更新問題に対し、新規整備を抑制しつつ施設の複合化を推進しながら、以下の考え方で総量の縮減を図ることとします。

- ・既存施設の有効活用を図り、新規整備は原則として行わない。新設が必要な場合は、中長期的な総量規制の範囲内で、費用対効果を考慮して行う。
- ・施設の更新（建替え）に当たっては、統合・整理による「複合化」や遊休施設の活用等により、機能を維持しつつ総量を縮減する。
- ・総人口が将来的に減少することを踏まえ、施設を更新する際には、床面積を縮小することを基本とする。
- ・市域の施設バランスを考慮し、機能が重複している施設は統合・整理を検討する。
- ・稼働率の低い施設は運営改善を徹底し、なお稼働率が低く、老朽化している施設は統合・整理を検討する。

## 2. 財政面から見るコスト削減目標等

今後の公共建築物の更新や大規模改修にかかる投資費用は、本市の財政規模に見合ったものとしなければなりません。そのため、以下のとおり、将来コストの削減と、将来にわたって必要となる施設の更新費用の確保に努めます。

①公共建築物全体の総床面積を50%削減することにより、大規模改修や更新（建替え）にかかる将来負担コストを17.4億円削減する。 $(34.8 \text{ 億円} \times 0.5)$

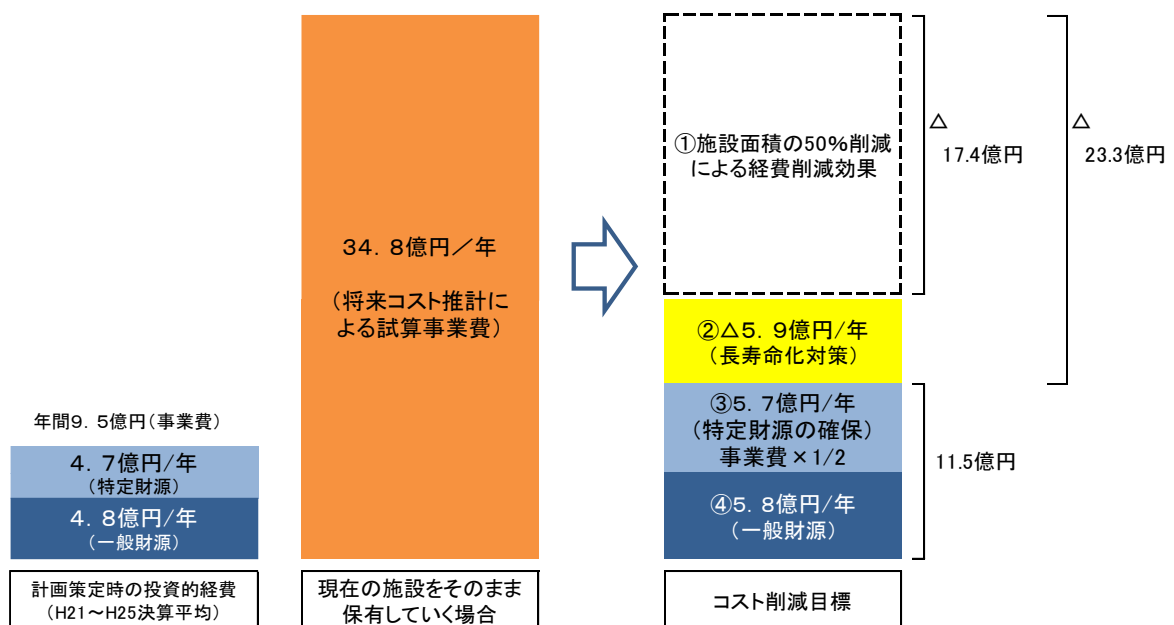
②長寿命化対策により将来負担コストを5.9億円削減する。なお、長寿命化対策は個別施設計画の精緻化を図りながら、①延床面積の削減と併せて実施していくことが必要であり、相互の効果を最大限に高めることにより、23.3億円の削減効果を図る。

③建替え、中規模および大規模（長寿命化）改修は、1/2以上の特定財源（補助金や地方債の交付税措置等を含む）の確保に努め、5.7億円の財源を確保する。 $((34.8 \text{ 億円} - 23.3 \text{ 億円}) \times 1/2)$

想定する充当可能な財源：合併特例債（R6まで）、学校教育施設等整備事業債、学校施設環境改善交付金、社会資本整備総合交付金 など

④公共建築物の投資にかかる一般財源は、年間5.8億円が必要となり、計画策定時（過去5年実績）の4.8億円程度の確保に努めてもなお1.0億円の不足が生じるため、財源不足への対応策を講じる。

【図V-1】公共建築物の大規模改修・建替えにかかる将来コスト負担のイメージ



### ■財源不足への対応策

- ※公共建築物の削減にともなう維持管理コストの縮減。
- ※施設運営・更新・維持について、指定管理者制度などの民間ノウハウを積極的に活用。
- ※建替え、中規模および大規模（長寿命化）改修時における低コスト工法の検討。
- ※未利用資産の貸付等による財源確保。

30年間に総床面積を50%削減するため、10年ごとの削減目標を段階的に設定します。

対象期間	面積削減目標	計画期間内に築60年を迎える建物
平成27～令和6年度	10% (△36,400 m <sup>2</sup> )	3.1% (10,566 m <sup>2</sup> )
令和7～16年度	20% (△72,800 m <sup>2</sup> )	15.3% (52,846 m <sup>2</sup> )
令和17～26年度	20% (△72,800 m <sup>2</sup> )	18.1% (62,281 m <sup>2</sup> )
計	50% (△182,000 m <sup>2</sup> )	36.5% (125,693 m <sup>2</sup> )

## 第6章 公共施設等の類型ごとのマネジメントの方針

### 1. 公共建築物（ハコモノ施設）の方向性

財政規模に見合った施設保有への転換（総量抑制）と長寿命化を図るために、以下の考え方に基づき再編計画を策定し、数値目標の達成に取り組みます。

行政系施設	行政サービスの向上や業務の効率性を高めることに配慮しつつ、規模の適正化や適正配置を検討。支所は耐震対策に加え、老朽化した場合は安全性の観点から周辺公共施設のあり方と合わせて検討。
社会教育施設 文化系施設 産業系施設	公民館や資料館、図書館等は、利用状況や建物性能、全市的な配置バランス、代替機能の可能性を考慮した上で、複合化等による総量抑制を検討。文化ホールは有効活用に努めつつ、類似団体と同程度の施設数となるよう検討。集会施設や産業系施設で地元自治会等の集会所や作業所としての機能が強い施設は、地元への譲渡を検討。
学校教育施設 子育て支援施設	よりよい学校教育環境を維持するため、児童・生徒数が過少な場合は、地域の状況を勘案して最適な教育環境について検討。給食センターは統合を基本とし、運営管理は民間委託の拡大を検討。子育て支援施設については、対象児数の見込みや子育て家庭のニーズ等を考慮して適正配置を検討。
保健・福祉施設	保健センターは施設の特徴、地域性を考慮し、複合施設化を基本に機能を維持。高齢者・障害者福祉施設は、民間で同種のサービスが提供されていることに配慮し、サービス事業者への譲渡等を検討。
レクリエーション・観光施設 スポーツ施設	存続する施設の管理運営については指定管理を基本とする。老朽化が著しい場合は利用状況や市域全体のバランス、代替機能の可能性など勘案して総量抑制方策を検討するほか、市有財産として保有する必然性が低い施設は、払下げや譲渡を検討。
市営住宅	セーフティネットとしての必要戸数を把握し、規模の集約に努め、年次的な計画修繕により効率的な管理運営を進める。
その他施設	建物性能（老朽化、耐震性等）や利用状況、収支面、代替施設の有無等の総合的な「施設評価」に基づき、「廃止・見直し・維持・更新」等の中長期的な方向性を検討。

### 2. インフラ資産の方向性

市民生活に必要な不可欠なインフラ資産は、長寿命化を可能な限り図るとともに、計画的、効率的な改修・更新を行うため、種別ごとに「(仮称)長寿命化計画」を策定し、施設保有量や整備内容の最適化に取り組むほか、「予防保全型」の考え方を重視した維持修繕により、将来負担コストの低減と財政負担の平準化を図る。



### 3. 公共建築物（ハコモノ施設）における再編計画の策定

公共施設等のマネジメントの取組みをより具体化し計画的に推進するため、平成 29 年 9 月に「高島市公共施設再編計画」を策定しました。計画では、以下のようにハード面（建物性能の視点から安全性や老朽化状況等）およびソフト面（利用状況やコスト状況等）による客観的データから見た定量的評価と立地面等（類似施設の状況や将来需要等）による長期的視点から見た施設の定性的評価を組み合わせた総合的な評価を行い、個々の公共施設の再編の方向性を示しています。

#### 再編計画策定の進め方

##### (1) 現状把握

再編計画の策定に必要となる施設の現状や施設再編に係る市民意向等の基礎的情報を把握するとともに、再編の方向性を検討することを目的に、一般財団法人地方自治研究機構との共同調査研究事業を実施。

個別の公共建築物ごとに、施設の状況、利用度、維持管理コストなどの施設情報を記入した「施設カルテ」を作成し、施設評価の基礎的データとして活用。

##### (2) 公共建築物にかかる施設評価の実施

- ①一次評価／安全性などの建物性能、利用状況、コスト状況を定量的な視点で評価
- ②二次評価／一次評価を踏まえ、長期的視点の要素を加えた定性的な視点で評価

##### (3) 方向性の検討

- ①一次評価（定量的評価）と二次評価（定性的評価）の結果を踏まえて、総合的な観点から、個別施設ごとに、「譲渡・廃止、多機能化、転用、維持」の方向性等を検討し、再編計画案を作成。
- ②上記の計画案に対する市民意見の聴取の上で方向性を再検証。

方向性	内 容
ア 譲渡・廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が地域住民に限られるコミュニティ施設等⇒住民組織に譲渡</li> <li>・市有財産としての必然性の観点から、民間事業者に運営を託すことで、より効率的・効果的に業務が遂行できる施設⇒民間事業者に譲渡</li> <li>・民間で同種のサービスを実施している場合等⇒利用ニーズを踏まえた上で廃止（除却）</li> </ul>
イ 多機能化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用の効率化を図る必要がある施設⇒利用ニーズ等を考慮した上で、同種・類似施設の集約化や異なる機能の複合化</li> <li>・集約化や複合化により用途を廃止し、有効な利活用方法がない施設⇒財政の中長期見通しを踏まえ、順次、除却</li> </ul>
ウ 転 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記イにおける検討を基本とする一方、他の用途に再活用することがサービス提供の充実や施設整備コスト削減に有効な場合</li> </ul>
エ 維 持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設として保持し続けることが必要な施設⇒利用状況や将来の需要動向を勘案し、適正規模での配置を検討</li> </ul>

## 4. 公共施設等の管理に関する考え方

公共施設等を適正な状態で管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう、以下の考え方に基づき管理を行い、公共施設等のマネジメントを推進していくこととします。

### (1) 点検・診断等の実施方針

公共施設等の性能低下状況および管理状況を把握するため、定期的に劣化診断を行い、経年による劣化状況、外的負荷（気候天候、使用特性等）を評価し、公共施設等における保全の優先度を判断します。

### (2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針

公共施設等の重要度や劣化状況に応じて優先度をつけて、計画的に改修・更新を行います。なお、道路や橋りょうは、損傷が著しくなってから大規模な補修を行う「事後保全型」から、点検・診断結果などのデータに基づき計画的な補修を行う「予防保全型」の考え方を重視し、将来負担コストの低減と財政負担の平準化をめざします。

### (3) 安全確保の実施方針

点検等により高度の危険が認められる公共施設等については、安心・安全に利用できるよう維持修繕に最優先に取り組みます。また、公共建築物において、老朽化等により危険性が高く利用率が極めて低い場合は、その機能を他の施設に移転することにより廃止を検討します。

### (4) 耐震化の実施方針

公共建築物の耐震化状況は、学校施設は平成 23 年度に、保育園は平成 25 年度に耐震化工事を完了しており、また、行政系施設における庁舎については、分散している本庁機能の統合や各支所における機能移転等により平成 30 年度には耐震化が完了しました。こうしたことから、耐震改修が未実施の建築物の割合は改善されているものの、引き続き必要に応じて計画的に耐震化工事を進めます。

### (5) 長寿命化、統合、廃止の推進方針

全庁的に公共建築物の長寿命化や施設保有量の最適化に取り組むため、ハコモノ施設における個別施設ごとの方向性を示した「公共施設再編計画」を策定したことから、公共建築物の長寿命化における優先順位や運営の見直しを進めます。また、インフラ資産は、既存ストックを最適に維持管理しライフサイクルコストの縮減をめざし、種別ごとに「(仮称)長寿命化計画」を策定します。

### (6) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

公共施設等のマネジメントの推進にあたっては、市行財政改革推進本部をもとに全庁的な推進体制を構築します。また、職員一人ひとりが、常に経営的視点をもって、施設全体の最適化を目指す戦略的な取り組みが必要となるため、政策立案所管課、財産

管理統括課、各施設所管課、行財政改革課が連携して推進体制づくりに努めます。

#### (7) バリアフリー※化・ユニバーサルデザイン※化の推進に関する実施方針

(令和4年3月改訂時追記)

国が示す「ユニバーサルデザイン2020行動計画」(平成29年2月20日ユニバーサルデザイン2020閣僚会議決定)の考え方を踏まえ、公共施設等の大規模改修や建替えの際は、必要に応じバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進します。

※バリアフリーとは、高齢者、障がい者などが社会生活をしていく上での、物理的・社会的・制度的・心理的な障壁(バリア)など、全ての障壁を除去(フリー)するという考え方のこと。

※ユニバーサルデザインとは、障がいの有無、年齢、性別などに関係なく、全ての人が利用しやすいようにはじめから障壁がない製品・建物・環境などを作ろうという考え方のこと。

## 第7章 マネジメントの推進体制

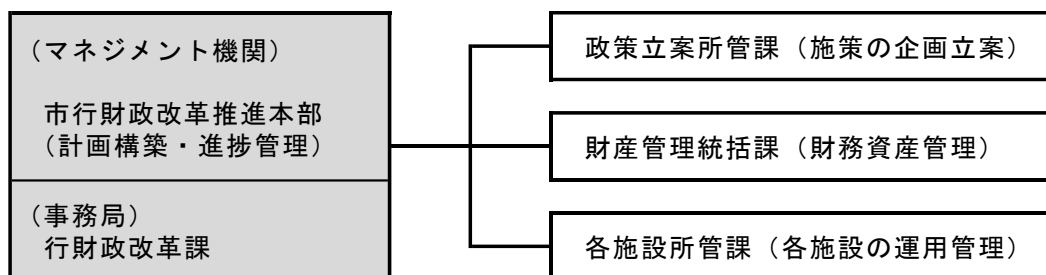
### (1) 情報管理および共有方策

公共施設等に関する情報の全庁的な一元管理を行うため、各公共建築物の基本情報と管理運営状況の情報を管理するとともに、毎年度内容の更新を行います。また、インフラ資産についても基本情報のデータベース化を図り、全庁的に公共施設等を管理できる体制を整えます。

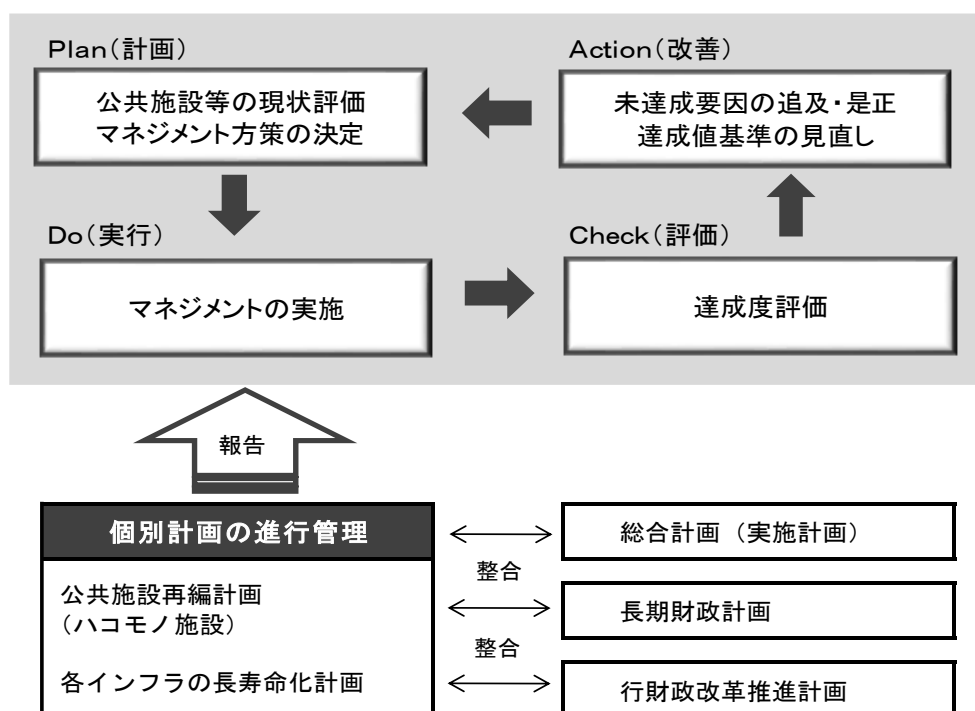
### (2) 全庁的な取組体制とフォローアップ体制の構築

持続可能なマネジメントを確立するため、政策立案所管課、財産管理統括課、各施設所管課、行財政改革課が連携するとともに、PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを活用し、市行財政改革推進本部を中心に全庁的な推進体制を構築します。

【図表Ⅶ-1】マネジメントの連携体制



【図表Ⅶ-2】PDCAサイクルのイメージ



公共建築物一覧

(令和3年3月現在)

施設分類		施設数	延床面積	施設名(取消線の施設は譲渡や廃止等済)
行政系施設	庁舎等	6	17,795 m <sup>2</sup>	市役所本庁、市役所別館、マキノ支所、今津支所、朽木支所、安曇川支所①、高島支所、マキノ文書庫(旧公民館)、南古賀文書庫
	消防施設	5	4,294 m <sup>2</sup>	消防本部(北部消防署)、南部消防署、マキノ救急分遣所、朽木分遣所、高島地域消防団車庫(旧高島黒谷コミュニティセンター)
	その他行政系施設	6	3,583 m <sup>2</sup>	マキノ防災センター、今津コミュニティ防災センター、朽木消防拠点施設、安曇川防災センター、高島防災センター、新旭防災センター
市民文化系施設	集会施設	20	21,173 m <sup>2</sup>	マキノ土に学ぶ里研修センター(マキノ公民館)、今津北コミュニティセンター(今津公民館)、今津東コミュニティセンター②、今津上コミュニティセンター、今津宮の森コミュニティセンター、今津西コミュニティセンター、今津浜分コミュニティセンター、働く女性の家、弘川会館、今津新田生活改善センター、今津角川生活改善センター、今津椋川多目的研修集会施設、今津酒波多目的集会施設、朽木公民館③、朽木農民研修センター、ステーションオアフ、朽木荒川集会所、朽木惣田集会所、安曇川公民館①、安曇川世代交流センター、安曇川庄堺農業構造改善センター、高島公民館④、高島黒谷コミュニティセンター、畑棚田ふれあい交流施設、高島横山集会所、新旭公民館⑤、新旭コミュニティセンター「ほおじろ荘」
	文化施設	3	8,206 m <sup>2</sup>	高島市民会館、藤樹の里文化芸術会館、ガリバーホール④
社会教育系施設	博物館等	11	3,610 m <sup>2</sup>	マキノ資料館、朽木資料館、高島歴史民俗資料館、中江藤樹記念館、良知館、総門、おっきん椋川交流館、新旭水鳥観察センター、文化財収蔵庫整理棟(南古賀、旧南古賀文書庫、旧今津東体育館、旧新旭公民館隣、下小川)
	図書館	6	5,751 m <sup>2</sup>	マキノ図書館、今津図書館、朽木図書サロン③、安曇川図書館、高島図書室④、新旭図書室⑤
学校教育系施設	学校	40	91,953 m <sup>2</sup>	小学校【26】(校舎、体育館別の施設数) マキノ東、マキノ西、マキノ南、今津東、今津北、朽木東、朽木西、広瀬、安曇、青柳、本庄、高島、新旭南、新旭北 中学校【14】(校舎、体育館、寄宿舎別の施設数) マキノ、今津、朽木、安曇川、高島、湖西
	その他教育施設	5	3,781 m <sup>2</sup>	マキノ学校給食センター、今津学校給食センター、安曇川学校給食センター、新旭学校給食センター、教育支援センター「スマイル」(旧カンガルー教室)
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	8	11,762 m <sup>2</sup>	なのはな保育園幼稚園、さくら保育園幼稚園、マキノ東保育園、マキノ西保育園、今津東保育園、朽木保育園、古賀保育園、高島保育園
	幼児児童施設	3	1,811 m <sup>2</sup>	マキノ児童館、カンガルー教室、児童発達支援センター「エール」(旧新旭健康づくりセンター「いきいき元気館」)、子育て支援施設「もりっこ」(旧新旭里山体験交流館「もりっこ」)
保健・福祉施設	保健施設	6	4,366 m <sup>2</sup>	訪問看護ステーション⑥、今津保健センター、朽木保健センター、安曇川健康福祉センター①、高島保健センター⑥、新旭保健センター
	高齢福祉施設	11	14,511 m <sup>2</sup>	介護老人保健施設「陽光の里」、マキノ老人福祉センター(健康管理センター)、在宅介護サービスセンター「はあとふるマキノ」、マキノ白谷温泉「八王子荘」、今津老人福祉センター、今津あいあいタウン地域交流センター、朽木特別養護老人ホーム「やまゆりの里」⑦、朽木デイサービスセンター⑦、朽木介護予防拠点「朽木ふれあいセンター」、朽木高齢者生活福祉ミニセンター、安曇川デイサービスセンター、安曇川老人福祉センター、高島デイサービスセンター⑥、新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」、新旭健康づくりセンター「いきいき元気館」
	障がい福祉施設	1	300 m <sup>2</sup>	安曇川障害者デイサービスセンター

施設分類	施設数	延床面積	施設名(取消線の施設は譲渡や廃止等済)
スポーツ・レクリエーション系施設	21	26,751 m <sup>2</sup>	マキノグラウンド、マキノ屋内グラウンド、今津総合運動公園、今津B&G海洋センター、屋根付運動場サンルーフ今津、今津山村広場、今津弘川運動公園、今津勤労者体育センター、今津北体育館、今津上体育館、今津北運動広場、角川農村公園、宮の森公園テニスコート、朽木グラウンド、健康の森梅ノ子運動公園、安曇川総合体育館、安曇川多目的グラウンド、高島B&G海洋センター、横山農村広場、新旭森林スポーツ公園、新旭武道館、新旭体育館、新旭グラウンド
	24	29,547 m <sup>2</sup>	マキノサニービーチ高木浜、マキノサニービーチ知内浜、マキノ高原自然体験交流施設、マキノ農業公園ピックランド、マキノ追坂峠道の駅施設、マキノ林間スポーツセンター、赤坂平家族旅行村ピラデスト今津、体験交流センターゆめの加工実習館センバィ、今津ヴォーリズ資料館、琵琶湖周航の歌資料館②、山の子天文台、グリーンパーク思い出の森、朽木新本陣、朽木オートキャンプ場、森林公園くつきの森、朽木スキー場じゃっぴいらんど、平良ふれあいセンター、針畑郷山村都市交流館「山帰来」、丸八百貨店、三ツ石休憩所、針畑休憩所③、道の駅「藤樹の里あどがわ」、ガリバー青少年旅行村、ガリバーリリパットハウス、うかわファームマート、新旭風車村公園、新旭里山体験交流館「もりこ」、新旭昆虫の森公園
産業系施設	9	3,475 m <sup>2</sup>	観光物産プラザ⑤、農林水産物処理加工施設、物産会館、マキノ白谷温泉泉源、今津南浜中浜農業共同作業所、今津川尻農業共同作業所、今津魚揚場、今津漁業者研修センター、朽木針畑ルネッサンスセンター、栃もちうまいもの館、たいさんじ風花の丘、安曇川上古賀農機具格納庫、安曇川長尾共同集出荷施設、安曇川三尾里農畜産物処理加工施設、鶴川ふれあい農園、新旭井ノ口共同作業所、新旭川原市穀調整施設共同作業所、新旭針江穀調整施設共同作業所、新旭北畑農業用集出荷施設、新旭田井農機具格納庫
公園	17	100 m <sup>2</sup>	宮の森公園、住吉公園、橘公園、西町公園、名小路公園、陽明園、白妙公園、児貝公園、壺針木公園、萬木公園、新旭中央公園、竹馬の里児童公園、浄土寺児童公園、花の臺児童公園、村西児童公園、北畑西公園、安養寺萌木の国公園
供給処理施設	10	17,472 m <sup>2</sup>	環境センター、MICSセンター、マキノ不燃物処理場、今津不燃物処理場、朽木不燃物処理場、安曇川不燃物処理場、高島拝戸不燃物処理場、高島横山不燃物処理場、新旭新庄不燃物処理場、新旭饗庭不燃物処理場、熱供給施設
その他施設	30	3,693 m <sup>2</sup>	斎場、朽木市営バス拠点施設、朽木学校前待合所休憩所施設、駅前駐車場【18】、駐輪場【9】
公営住宅	41	51,678 m <sup>2</sup>	市営住宅【34】 西浜、新保、マキノ駅前第一、マキノ駅前第二、マキノ駅前第三、天神、市ヶ崎、市ヶ崎(けやき棟)、平ヶ崎、武末、上野第一、上野第二、上野第三(A・D)、上野第三(K・L)、上野第四(G・J)、上野第四(M・N)、上野第四(O・P)、荒川、荒川惣田(A)、針畑、船本、新西万木、古賀、第二古賀、天井前、島、第二島、第三島、新中野、出鴨、拝戸、五斗川、米井、堀川、北畑、特定市営中牧、小規模改良北出 特定公共賃貸住宅【5】 市ヶ崎(けやき棟)、市ヶ崎(つつじ棟)、市場わかば、市場、荒川惣田 特定優良賃貸住宅【2】 サニーハイツマキノ、第二サニーハイツマキノ
病院、医療施設	5	19,328 m <sup>2</sup>	高島市民病院、市民病院健診棟、市民病院針畑診療所③、市民病院平良出張診療所、国民健康保険朽木診療所、朽木診療所医師住宅
計	288	344,940 m <sup>2</sup>	●数字は複合施設の対照番号、【 】数字は施設数

参考資料1 分類別施設の状況

No	施設名	所在地	建築年度	延床面積 (㎡)	構造	地上階	地下階	耐震化	令和2年度	
									維持管理費 (円)	利用者数 (人)
<b>■行政系施設</b>										
1	市役所本庁	新旭町北畑	H5	9,699.98	RC造	4	2	○	45,368,772	
2	マキノ支所	マキノ町沢	S49	2,584.88	RC造	3		○	4,495,551	
3	今津支所	今津町弘川	H29	357.55	RC造	1		○	3,423,967	
4	朽木支所	朽木市場	S49	1,542.51	RC造	3		○	2,703,614	
5	安曇川支所 <small>(H29に安曇川ふれあいセンター内へ移転)</small>	安曇川町田中	H10	470.00	RC造	2		○	393,880	
6	高島支所	勝野	S57	3,139.61	RC造	3		○	3,722,369	
7	消防本部、北部消防署	今津町日置前	H7	2,861.67	RC造	3		○	25,547,779	
8	南部消防署	安曇川町青柳	H9	811.41	RC造	2		○	2,982,222	
9	マキノ救急分遣所	マキノ町西浜	H15	264.72	鉄骨造	1		○	2,244,241	
10	朽木分遣所	朽木市場	H9	246.51	鉄骨造	1		○	1,749,643	
11	高島地域消防団車庫 <small>(H28に旧高島黒谷コミュニティセンターを転用)</small>	黒谷	S51	110.13	木造	1		×	71,068	
12	マキノ防災センター	マキノ町沢	H13	429.86	鉄骨造	2		○	350,289	
13	今津コミュニティ防災センター	今津町日置前	H8	791.45	鉄骨造	2		○	406,310	
14	朽木消防拠点施設	朽木市場	H11	294.00	RC造	3		○	674,348	
15	安曇川防災センター	安曇川町青柳	H9	985.18	鉄骨造	2		○	595,100	
16	高島防災センター	勝野	H12	446.00	鉄骨造	2		○	645,217	
17	新旭防災センター	新旭町北畑	H11	636.96	鉄骨造	2		○	542,335	
<b>■市民文化系施設</b>										
18	マキノ土に学ぶ里研修センター(マキノ公民館)	マキノ町蛭口	S56	3,145.00	RC造	2		○	6,354,699	15,289
19	今津北コミュニティセンター(今津公民館)	今津町日置前	S56	512.37	RC造	2		○	1,185,268	1,642
20	今津東コミュニティセンター	今津町中沼	S62	1,527.88	RC造	4		○	14,243,484	21,095
21	今津上コミュニティセンター	今津町下弘部	S63	329.79	RC造	1		○	561,093	488
22	今津宮の森コミュニティセンター	今津町弘川	H1	325.56	鉄骨造	2		○	809,680	5
23	今津西コミュニティセンター	今津町保坂	S59	443.53	RC造	2		○	216,762	27
24	今津浜分コミュニティセンター	今津町浜分	S50	163.22	RC造	2		○	240,500	2,830
25	高島市働く女性の家	今津町今津	H4	752.05	RC造	2		○	10,338,682	10,565
26	弘川会館	今津町弘川	H4	149.76	RC造	2		○	1,170	336
27	朽木公民館	朽木市場	H14	2,319.00	RC造	2		○	6,146,611	1,090
28	朽木農民研修センター	朽木市場	S50	498.78	RC造	2		×	845,446	364
29	ステーション・オアフ	朽木市場	H7	182.86	木造	2		○	364,810	
30	朽木惣田集会所	朽木荒川	H9	99.72	木造	1		○	6,589	50
31	安曇川公民館	安曇川町田中	H10	3,144.39	RC造	2		○	9,186,661	20,181
32	安曇川世代交流センター	安曇川町南船木	H4	915.46	RC造	1		○	3,477,946	2,608
33	高島公民館	勝野	H5	3,884.61	RC造	2		○	4,974,147	8,177
34	畑の棚田ふれあい交流施設	畑	H17	143.30	木造	1		○	62,415	
35	高島横山集会所	武曾横山	S54	158.46	RC造	2		×	1,218	544
36	新旭公民館	新旭町旭	S62	1,850.30	RC造	4		○	6,026,826	15,779
37	新旭コミュニティセンター「ほおじろ荘」	新旭町旭	S53	626.68	RC造	1		○	3,106,061	10,209
38	高島市民会館	今津町中沼	S55	3,735.66	SRC造	3	1	○	13,549,816	1,980
39	藤樹の里文化芸術会館	安曇川町上小川	S54	2,399.86	RC造	2		○	8,970,813	11,469
40	ガリバーホール	勝野	H5	2,070.64	RC造	4		○	5,570,855	2,977
<b>■社会教育系施設</b>										
41	マキノ資料館	マキノ町蛭口	H4	423.54	RC造	1		○	283,620	90
42	朽木資料館	朽木野尻	S56	308.87	RC造	2		○	305,851	200
43	高島歴史民俗資料館	鴨	S55	331.32	RC造	2		×	1,691,334	1,492
44	近江聖人中江藤樹記念館	安曇川町上小川	S62	550.56	RC造	1		○	1,956,807	2,812
45	良知館	安曇川町上小川	H15	142.50	木造	1		○	2,487,199	5,053
46	総門	勝野	S39	236.83	木造	2		×	824,974	2,078
47	おっきん椋川交流館	今津町椋川	M14	179.81	木造	1		○	1,976,329	464
48	新旭水鳥観察センター	新旭町饗庭	H1	425.78	RC造	2		○	3,024,129	3,978
49	文化財収蔵庫(南古賀)	安曇川町南古賀	H12	137.30	RC造	1		○	3,242	
50	文化財収蔵庫 <small>(H28に旧南古賀文書庫を転用)</small>	安曇川町南古賀	H12	297.00	木造	1		○	11,258	
51	文化財整理棟(下小川福祉施設)	安曇川町下小川	S57	576.72	RC造	3		○	44,436	
52	マキノ図書館	マキノ町蛭口	S61	430.56	RC造	2		○	859,809	6,800
53	今津図書館	今津町舟橋	H13	2,527.89	RC造	2		○	7,408,620	39,790
54	朽木図書サロン	朽木市場	H13	508.00	RC造	1		○	579,884	4,408
55	安曇川図書館	安曇川町青柳	H6	1,949.31	RC造	2		○	5,938,157	24,706
56	高島図書室	勝野	H5	265.89	RC造	4		○	280,941	7,551
57	新旭図書室	新旭町旭	S62	69.40	RC造	4		○	292,444	9,266

No	施設名	所在地	建築年度	延床面積 (㎡)	構造	地上階	地下階	耐震化	令和2年度	
									維持管理費 (円)	利用者数 (人)
<b>■学校教育系施設</b>										
58	マキノ東小学校 (校舎)	マキノ町海津	S45	2,013.00	RC造	3	○		4,343,669	70
59	(体育館)		H23	614.00	RC造	1	○		0	
60	マキノ西小学校 (校舎)	マキノ町寺久保	S60	1,903.00	RC造	3	○		4,462,306	
61	(体育館)		S61	735.00	RC造	2	○		0	
62	マキノ南小学校 (校舎)	マキノ町新保	S62	2,580.00	RC造	3	○		4,463,991	
63	(体育館)		S58	721.00	RC造	1	○		0	
64	今津東小学校 (校舎)	今津町弘川	S40	5,827.00	RC造	3	○		9,014,802	
65	(体育館)		H19	1,215.00	RC造	1	○		0	
66	今津北小学校 (校舎)	今津町日置前	S44	2,690.00	RC造	3	○		3,917,636	
67	(体育館)		S46	770.00	鉄骨造	1	○		0	
68	朽木東小学校 (校舎)	朽木市場	S35	2,398.00	RC造	2	○		3,708,964	
69	(体育館)		H22	656.00	RC造	1	○		0	
70	朽木西小学校 (校舎)	朽木中牧	S58	492.00	RC造	2	○		2,056,262	
71	(体育館)		S58	178.00	鉄骨造	1	○		0	
72	安曇小学校 (校舎)	安曇川町田中	S57	4,702.00	RC造	3	○		6,122,266	
73	(体育館)		S58	1,105.00	RC造	2	○		0	
74	青柳小学校 (校舎)	安曇川町青柳	S40	3,798.00	RC造	2	○		4,307,810	
75	(体育館)		S61	1,083.00	RC造	2	○		0	
76	本庄小学校 (校舎)	安曇川町南船木	H1	3,367.00	RC造	3	○		3,391,499	
77	(体育館)		H1	880.00	RC造	1	○		0	
78	高島小学校 (校舎)	勝野	S39	3,897.00	RC造	3	○		6,205,297	
79	(体育館)		H12	1,302.00	RC造	2	○		0	
80	新旭南小学校 (校舎)	新旭町新庄	S41	4,789.00	RC造	3	○		6,448,433	
81	(体育館)		S54	919.00	RC造	2	○		0	
82	新旭北小学校 (校舎)	新旭町饗庭	S43	4,203.00	RC造	3	○		5,555,991	
83	(体育館)		S59	989.00	RC造	2	○		0	
84	マキノ中学校 (校舎)	マキノ町蛭口	S42	3,616.00	RC造	3	○		5,004,710	
85	(寄宿舎)		S42	510.00	RC造	2	○		0	
86	(体育館)		H20	1,253.00	RC造	1	○		0	
87	今津中学校 (校舎)	今津町弘川	S50	6,554.00	RC造	3	○		10,623,676	
88	(寄宿舎)		S60	155.00	RC造	2	○		0	
89	(体育館)		S52	2,607.00	RC造	3	○		0	
90	朽木中学校 (校舎)	朽木市場	S45	2,913.00	RC造	3	○		3,717,726	
91	(体育館)		H22	1,013.00	RC造	2	○		0	
92	安曇川中学校 (校舎)	安曇川町田中	S46	5,742.00	RC造	2	○		6,757,072	
93	(体育館)		H14	1,683.00	RC造	2	○		0	
94	高島中学校 (校舎)	勝野	S45	3,687.00	RC造	3	○		5,926,469	
95	(体育館)		H12	2,204.00	RC造	2	○		0	
96	湖西中学校 (校舎)	新旭町北畑	S50	4,819.00	RC造	3	○		6,387,646	
97	(体育館)		S53	1,371.00	RC造	2	○		0	
98	教育支援センタースマイル (R2に旧カンガルー教室を転用)	今津町今津	S62	405.04	鉄骨造	2	○		1,883,599	
99	マキノ学校給食センター	マキノ町蛭口	H14	762.69	鉄骨造	2	○		13,861,889	
100	今津学校給食センター	今津町弘川	H14	848.34	鉄骨造	1	○		13,459,693	
101	安曇川学校給食センター	安曇川町田中	H12	1,086.55	鉄骨造	1	○		17,645,655	
102	新旭学校給食センター	新旭町新庄	H8	678.30	鉄骨造	1	○		13,233,580	
<b>■子育て支援施設</b>										
103	なのはな保育園、なのはな幼稚園	新旭町薬園	H16	3,295.98	鉄骨造	2	○		8,489,056	
104	さくら保育園、さくら幼稚園	新旭町饗庭	H14	3,281.54	鉄骨造	1	○		7,896,635	
105	マキノ東保育園	マキノ町西浜	H7	767.98	鉄骨造	1	○		3,322,569	
106	マキノ西保育園	マキノ町蛭口	S53	788.06	鉄骨造	1	○		2,877,829	
107	今津東保育園	今津町住吉	S47	840.47	RC造	1	○		3,062,934	
108	朽木保育園	朽木市場	H10	1,068.04	鉄骨造	1	○		4,318,898	
109	古賀保育園	安曇川町下古賀	S52	857.97	鉄骨造	1	○		3,241,349	
110	高島保育園	野田	S62	861.48	鉄骨造	1	○		4,773,413	
111	マキノ児童館	マキノ町蛭口	H16	426.17	木造	2	○		1,205,488	
112	児童発達支援センター「エール」 (R2に旧いきいき元気館を転用)	新旭町北畑	H16	1,048.36	鉄骨造	1	○		2,664,722	2,312
113	子育て支援施設「もりっこ」 (H29に旧新旭里山体験交流館を転用)	新旭町饗庭	H16	336.47	木造	1	○		1,793,356	13,608
<b>■保健・福祉施設</b>										
114	訪問看護ステーション	勝野	H11	72.64	RC造	1	○		288,857	
115	今津保健センター	今津町弘川	H1	824.59	RC造	1	○		4,191,977	1,776
116	朽木保健センター	朽木市場	H2	680.25	RC造	2	○		692,719	500
117	安曇川健康福祉センター	安曇川町田中	H10	530.56	RC造	2	○		621,166	2,680
118	高島保健センター	勝野	H11	1,615.15	RC造	1	○		5,851,267	1,742
119	新旭保健センター	新旭町北畑	S61	643.06	RC造	2	○		1,811,992	550



No	施設名	所在地	建築年度	延床面積 (㎡)	構造	地上階	地下階	耐震化	令和2年度	
									維持管理費 (円)	利用者数 (人)
120	介護老人保健施設「陽光の里」	勝野	H9	4,043.89	RC造	3	○		61,745,401	36,874
121	マキノ老人福祉センター、健康福祉センター	マキノ町蛭口	H3	998.20	RC造	1	○		1,992,199	5,101
122	在宅介護サービスセンター「はあとふるマキノ」	マキノ町新保	H12	1,798.44	RC造	1	○		847,894	13,460
123	マキノ白谷温泉「八王子荘」	マキノ町白谷	H17	759.51	鉄骨造	1	○		61,963	28,672
124	今津老人福祉センター	今津町弘川	H3	736.88	RC造	1	○		913,540	8,402
125	朽木特別養護老人ホーム「やまゆりの里」	朽木市場	H9	3,016.93	鉄骨造	1	○		111,667	21,484
126	朽木デイサービスセンター	朽木市場	H9	195.17	鉄骨造	1	○		7,217	
127	朽木ふれあいセンター	朽木市場	H12	274.72	木造	1	○		1,783,907	936
128	安曇川デイサービスセンター	安曇川町田中	H2	686.07	鉄骨造	2	○		20,826	8,377
129	高島デイサービスセンター	勝野	H11	501.40	RC造	1	○		22,543	12,061
130	新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」	新旭町北畑	H7	1,499.35	RC造	1	○		78,216	5,849
131	安曇川障害者デイサービスセンター	安曇川町下小川	H3	300.18	鉄骨造	1	○		5,205,698	3,023
■スポーツ施設										
132	マキノグラウンド	マキノ町蛭口	S54	64.80	鉄骨造	1	○		355,467	3,264
133	マキノ屋内グラウンド	マキノ町蛭口	H2	977.90	鉄骨造	1	○		247,570	1,533
134	今津総合運動公園	今津町日置前	H4	3,095.49	鉄骨造	1	○		41,010,965	46,050
135	今津B&G海洋センター	今津町日置前	H4	1,685.00	鉄骨造	2	○		27,716	41,240
136	今津屋根付運動場 サンプルフ今津	今津町日置前	H15	2,965.62	鉄骨造	1	○		81,174	11,369
137	今津山村広場	今津町梅原	S57	67.85					3,088	1,810
138	今津弘川運動公園	今津町弘川	H16	1,169.20	鉄骨造	1	○		4,580,290	1,136
139	今津勤労者体育センター	今津町今津	S52	1,885.48	RC造	2	○		1,473,976	12,362
140	今津北体育館	今津町日置前	S53	925.45	鉄骨造	1	×		398,805	2,161
141	今津上体育館	今津町上弘部	S55	749.93	鉄骨造	1	○		361,043	2,510
142	宮の森公園 全天候型テニスコート	今津町弘川	S63						0	300
143	朽木グラウンド	朽木野尻	S50	98.47	鉄骨造	1			325,111	
144	健康の森梅ノ子運動公園	安曇川町南古賀	H13	573.19	鉄骨造	1	○		16,202,032	44,471
145	安曇川総合体育館	安曇川町田中	S54	3,930.00	SRC造	3	○		10,111,268	39,424
146	安曇川多目的グラウンド	安曇川町北船木	S55						263,000	1,790
147	高島B&G海洋センター	宮野	S59	5,264.00	RC造	2	○		24,780,963	62,932
148	高島横山農村広場	武曾横山	S54						878,513	86
149	新旭森林スポーツ公園	新旭町熊野本	S60	400.37	RC造	1	○		9,758,088	27,291
150	新旭武道館	新旭町旭	H1	774.13	鉄骨造	1	○		365,358	3,832
151	新旭体育館	新旭町旭	S46	2,098.30	鉄骨造	1	○		1,604,627	7,562
152	新旭グラウンド	新旭町新庄	S42	26.04	鉄骨造	1	○		178,750	2,008
■レクリエーション・観光施設										
153	マキノ高原自然体験交流施設	マキノ町牧野	H13	2,609.82	鉄骨造	1	○		425,046	221,700
154	マキノ農業公園施設(マキノピクランド)	マキノ町寺久保	H10	1,537.41	RC造	1	○		271,986	195,770
155	農林水産物直売所(マキノ道の駅施設)	マキノ町海津	H16	471.86	鉄骨造	1	○		5,613,378	170,501
156	マキノ林間スポーツセンター	マキノ町蛭口	S61	138.16	RC造	1	○		1,426,710	112
157	赤坂平家族旅行村ビラデスト今津	今津町深清水	H6	4,404.87	RC造	1	○		783,178	13,275
158	体験交流センターゆめの・センパイ	今津町日置前	H8	950.51	RC造	2	○		1,322,955	3,691
159	今津ヴォーリズ資料館	今津町今津	T12	264.30	RC造	2	○		2,402,213	5,026
160	琵琶湖周航の歌資料館	今津町中沼	S62	117.50	RC造	4	○		156,930	3,382
161	山の子天文台	今津町椋川	H2	94.77	RC造	2	○		739,909	
162	グリーンパーク憩いの森施設	朽木柏	S61	10,530.92	RC造	2	○		871,566	202,620
163	朽木新本陣	朽木市場	S62	618.79	木造	1	○		5,662,331	90,138
164	朽木オートキャンプ場	朽木柏	H8	273.16	木造	1	○		268,369	9,281
165	森林公園くつきの森	朽木麻生	S56	1,024.90	RC造	2	1	×	8,969,316	3,970
166	総合交流施設拠点施設 じゃっぴいらんど	朽木宮前坊	H13	1,117.46	RC造	2	○		9,653	4,683
167	平良ふれあいセンター	朽木平良	H15	92.20	木造	1	○		6,129	
168	針畑郷山村都市交流館「山帰来」	朽木中牧	H14	213.89	木造	2	○		122,987	1,287
169	丸八百貨店	朽木市場		258.87	木造	3	×		1,607,872	3,486
170	三ツ石休憩所	朽木麻生	S51	83.60	木造	1	×		0	
171	針畑休憩所	朽木中牧	S51	100.19	木造	2	×		5,121	
172	道の駅施設「藤樹の里あどがわ」	安曇川町青柳	H18	1,369.80	鉄骨造	1	○		1,362,997	750,392
173	ガリバー青少年旅行村	鹿ヶ瀬	S62	3,012.90	木造	2	○		1,594,150	9,135
174	ガリバーリパットハウス	黒谷	H1	50.87	木造	2	○		3,268	
175	うかわファーム マート	鶴川	H14	138.61	木造	1	○		1,185,020	15,147
176	新旭昆虫の森公園	新旭町饗庭	H13	72.10	RC造	1	○		370,000	
■産業系施設										
177	観光物産プラザ	新旭町旭	S62	1,229.37	RC造	4	○		4,236,383	59,846
178	農林水産物処理加工施設	マキノ町小荒路	H15	1,162.50	鉄骨造	1	○		166,167	
179	物産会館	マキノ町高木浜	S62	97.84	RC造	2	○		1,653	1,419

No	施設名	所在地	建築年度	延床面積 (㎡)	構造	地上階	地下階	耐震化	令和2年度	
									維持管理費 (円)	利用者数 (人)
180	マキノ白谷温泉(泉源施設)	マキノ町白谷	S54	16.64	ブロック	1		×	770,383	
181	今津南浜中浜農業共同作業所	今津町今津	S54	172.40	鉄骨造	1		×	3,727	
182	朽木針畑ルネッサンスセンター	朽木中牧	H7	209.50	木造	1		○	269,125	
183	栃もちうまいもの館	朽木雲洞谷	H10	105.25	木造	1		○	6,778	
184	たいさんじ風花の丘	安曇川町田中	H17	449.72	木造	2		○	2,818,190	1,396
185	鶺鴒川ふれあい農園	鶺鴒川	H13	32.12	木造	1		○	1,163	
■公園										
186	宮の森公園	今津町弘川	S62	32,361.94	(敷地面積)				1,419,563	
187	住吉公園	今津町住吉	S48	2,626.00	〃				295,018	
188	橋公園	今津町住吉	S60	2,288.00	〃				202,835	
189	西町公園	今津町住吉	S61	616.14	〃				163,675	
190	名小路公園	今津町名小路	S61	874.84	〃				167,811	
191	陽明園	安曇川町青柳	H4	1,800.00	〃				206,250	
192	白妙公園	安曇川町中央	S50	2,600.00	〃				273,722	
193	児貝公園	安曇川町中央	S48	2,400.00	〃				321,728	
194	杏針木公園	安曇川町末広	S54	1,622.00	〃				154,495	
195	萬木公園	安曇川町末広	S53	2,401.00	〃				807,945	
196	新旭中央公園	新旭町旭	S53	6,363.00	〃				183,092	
197	竹馬の里児童公園	新旭町熊野本	S63	2,759.03	〃				428,885	
198	浄土寺児童公園	新旭町旭	H1	2,821.14	〃				135,585	
199	花の臺児童公園	新旭町熊野本	H2	2,735.06	〃				64,387	
200	村西児童公園	新旭町旭	H2	2,777.38	〃				159,331	
201	北畑西公園	新旭町北畑	H16	2,670.01	〃				6,160	
202	安養寺萌木の国公園	新旭町安井川	H16	2,479.73	〃				81,432	
■供給処理施設										
203	環境センター	今津町途中谷	H14	16,171.92	SRC造	5	1	○	634,602,152	
204	MICSセンター	新旭町饗庭	H29	784.35	RC造	1	1	○	36,821,285	
205	マキノ不燃物処理場	マキノ町沢	S48						639,314	
206	今津不燃物処理場	今津町杉山	H3	199.26	RC造	1		○	13,906,605	
207	朽木不燃物処理場	朽木荒川	S59	116.69	RC造	1		○	1,585,570	
208	安曇川不燃物処理場	安曇川町南船木	S47						1,737,330	
209	高島梓戸不燃物処理場	梓戸	S49	130.00		1			314,699	
210	高島横山不燃物処理場	武曾横山	S58	69.83	RC造	1		○	1,490,049	
211	新旭新庄不燃物処理場	新旭町新庄	S55						0	
212	新旭饗庭不燃物処理場	新旭町饗庭	S42						17,145,827	
■その他施設										
213	高島市斎場	今津町今津	S59	419.30	RC造	2		○	8,827,535	
214	市営バス拠点施設	朽木市場	H12	270.00	鉄骨造	1		○	435,384	
215	朽木学校前待合所休憩所施設	朽木市場	H6	64.98	木造	1		○	802,247	
216	マキノ駅前第1駐車場	マキノ町高木浜		3,300.00	(敷地面積)				8,067,760	
217	マキノ駅前第2駐車場	マキノ町高木浜		656.00	〃					
218	マキノ駅前第3駐車場	マキノ町高木浜		386.87	〃					
219	近江中庄駅前第1駐車場	マキノ町中庄		352.00	〃					
220	近江中庄駅前第2駐車場	マキノ町中庄		453.75	〃					
221	近江中庄駅前第3駐車場	マキノ町中庄		1,465.00	〃					
222	今津西区駐車場	今津町今津	H21	744.45	〃					
223	近江今津駅前第1駐車場	今津町名小路	H21	2,827.00	〃					
224	近江今津駅前第2駐車場	今津町中沼		2,047.00	〃					
225	新旭駅前第1駐車場	新旭町旭		610.00	〃					
226	新旭駅前第2駐車場	新旭町旭		683.49	〃					
227	安曇川駅前第1駐車場	安曇川町末広		701.25	〃					
228	安曇川駅前第2駐車場	安曇川町中央		367.50	〃					
229	安曇川駅前第3駐車場	安曇川町中央		1,344.75	〃					
230	安曇川駅前第4駐車場	安曇川町中央		848.00	〃					
231	安曇川駅前第5駐車場	安曇川町中央		2,171.00	〃					
232	近江高島駅前第1駐車場	城山台		1,998.00	〃					
233	高島市勝野駐車場	勝野	H25	835.00	〃					
234	マキノ駅前駐輪場	マキノ町高木浜		385.75	鉄骨造	1				
235	近江中庄駅前駐輪場	マキノ町中庄		275.00	鉄骨造	1				
236	新旭駅前駐輪場	新旭町旭		119.25	鉄骨造	1				
237	新旭駅前西駐輪場	新旭町旭		216.00	鉄骨造	1				
238	新旭駅前北駐輪場	新旭町旭		219.00	鉄骨造	1				
239	安曇川駅自転車駐輪場	安曇川町西万木		730.20						
240	近江今津駅自転車駐輪場	今津町名小路		541.25						
241	近江今津駅前自転車駐輪場	今津町名小路		114.75	鉄骨造	1				
242	近江高島駅前駐輪場	城山台		337.50	鉄骨造	1				

No	施設名	所在地	建築年度	延床面積 (㎡)	構造	地上階	地下階	耐震化	令和2年度	
									維持管理費 (円)	利用者数 (人)
<b>■公営住宅</b>										
243	市営住宅西浜団地	マキノ町西浜	S53	665.64	簡易耐火	2	×		36,944	
244	市営住宅新保団地	マキノ町新保	H5	1,906.08	RC造	3	○		822,160	
245	市営住宅マキノ駅前第1団地	マキノ町高木浜	S62	1,373.22	RC造	3	○		1,159,780	
246	市営住宅マキノ駅前第2団地	マキノ町高木浜	H1	1,214.36	RC造	3	○		433,142	
247	市営住宅マキノ駅前第3団地	マキノ町高木浜	H13	1,872.42	RC造	3	○		1,059,058	
248	市営住宅天神団地	今津町今津	S32	2,905.58	木造	1	×		451,987	
249	市営住宅市ヶ崎団地	今津町南新保	H8	7,874.54	RC造	3	○		2,864,624	
250	市営住宅市ヶ崎団地 けやき棟	今津町南新保	H8	336.52	RC造	3	○		361,140	
251	市営住宅平ヶ崎団地	今津町日置前	S42	397.20	簡易耐火	1	×		7,830	
252	市営住宅武末団地	今津町弘川	S63	4,686.09	RC造	5	○		2,316,463	
253	市営住宅上野団地第1団地	朽木野尻	S55	631.30	準耐火	2	×		402,327	
254	市営住宅上野団地第2団地	朽木野尻	S48	146.08	木造	1	×		6,654	
255	市営住宅上野団地第3団地 A～D棟	朽木野尻	S53	1,440.40	準耐火	2	×		1,085,847	
256	市営住宅上野団地第3団地 KL棟	朽木野尻	H4	334.52	木造	2	○		38,081	
257	市営住宅上野団地第4団地 G～J棟	朽木野尻	S61	1,395.00	木造	1	○		239,711	
258	市営住宅上野団地第4団地 MN棟	朽木野尻	H4	298.00	木造	1	○		27,846	
259	市営住宅上野団地第4団地 OP棟	朽木野尻	H9	522.96	準耐火	2	○		101,727	
260	市営住宅荒川団地	朽木荒川	H7	863.14	木造	2	○		586,057	
261	市営住宅荒川惣田団地 A棟	朽木荒川	H11	173.70	木造	1	○		11,426	
262	市営住宅針畑団地	朽木生杉	H8	129.00	木造	1	○		18,597	
263	市特定市営住宅中牧団地	朽木中牧	H14	122.00	木造	1	○		39,661	
264	市営住宅新西万木団地	安曇川町西万木	H16	4,267.23	RC造	4	○		2,631,616	
265	市営住宅古賀団地	安曇川町下古賀	S44	303.00	簡易耐火	1	×		5,486	
266	市営住宅第2古賀団地	安曇川町下古賀	S55	560.00	簡易耐火	2	×		272,226	
267	市営住宅島団地	安曇川町青柳	S54	560.00	簡易耐火	2	○		131,473	
268	市営住宅第2島団地	安曇川町青柳	S56	560.00	簡易耐火	2	○		399,606	
269	市営住宅第3島団地	安曇川町青柳	S57	558.00	簡易耐火	2	○		21,614	
270	市営住宅新中野団地	勝野	H14	4,469.20	RC造	3	○		1,825,605	
271	市営住宅出鴨団地	鴨	S46	705.00	簡易耐火	1	×		32,935	
272	市営住宅拝戸団地	拝戸	S48	1,928.20	簡易耐火	2	○		425,606	
273	市営住宅米井団地	新旭町饗庭	S39	684.20	木造	1	×		100,424	
274	市営住宅堀川団地	新旭町旭	S41	740.20	木造	1	×		17,642	
275	市営住宅北畑団地	新旭町北畑	H14	1,807.50	木造	2	○		795,165	
276	小規模改良住宅北出団地	安曇川町三尾里	S48	810.00	簡易耐火	2	×		519,822	
277	特定公共賃貸住宅市ヶ崎団地 けやき棟	今津町南新保	H12	168.26	RC造	3	○		346,376	
278	特定公共賃貸住宅市ヶ崎団地 つつじ棟	今津町南新保	H8	551.64	RC造	3	○		17,978	
279	特定公共賃貸住宅市場わかば団地	朽木市場	H7	273.75	木造	1	○		114,558	
280	特定公共賃貸住宅市場団地	朽木市場	H14	369.00	木造	1	○		97,398	
281	特定公共賃貸住宅荒川惣田団地	朽木市場	H11	521.10	木造	1	○		52,468	
282	特定優良賃貸住宅サニー・マキノ団地	マキノ町高木浜	H6	1,236.84	RC造	3	○		177,225	
283	特定優良賃貸住宅第2サニー・マキノ団地	マキノ町高木浜	H14	1,317.00	RC造	3	○		682,976	
<b>■病院、医療施設</b>										
284	高島市民病院	勝野	H23	15,098.71	RC造	5	○	238,568,304		145,859
285	高島市民病院 健診棟	勝野	H24	3,797.72	RC造	4	○		0	6,200
286	高島市民病院 針畑診療所	朽木中牧	S51	50.09	木造	2	×	105,000		147
287	高島市民病院朽木診療所	朽木市場	H25	271.33	木造	1	○	1,829,638		3,789
288	高島市民病院朽木診療所医師住宅	朽木市場	H5	109.20	木造	1	○		0	

参考資料2 大規模施設一覧(延床面積 3,000 m<sup>2</sup>以上)

No	施設名	所在地	延床面積 (m <sup>2</sup> )	大分類	建築 年度
1	環境センター	今津町途中谷	16,171.92	供給処理施設	H14
2	高島市民病院	勝野	15,098.71	病院施設	H23
3	グリーンパーク想い出の森施設	朽木柏	10,530.92	レクリエーション・観光施設	S61
4	市役所本庁	新旭町北畑	9,699.98	行政系施設	H5
5	市営住宅市ヶ崎団地	今津町南新保	7,874.54	公営住宅	H8
6	今津中学校	今津町弘川	6,554.00	学校教育系施設	S50
7	今津東小学校	今津町弘川	5,827.00	学校教育系施設	S40
8	安曇川中学校	安曇川町田中	5,742.00	学校教育系施設	S46
9	高島B&G海洋センター	宮野	5,264.00	スポーツ施設	S59
10	湖西中学校	新旭町北畑	4,819.00	学校教育系施設	S50
11	新旭南小学校	新旭町新庄	4,789.00	学校教育系施設	S41
12	安曇小学校	安曇川町田中	4,702.00	学校教育系施設	S57
13	市営住宅武末団地	今津町弘川	4,686.09	公営住宅	S63
14	市営住宅新中野団地	勝野	4,469.20	公営住宅	H14
15	赤坂平家族旅行村ピラデスト今津	今津町深清水	4,404.87	レクリエーション・観光施設	H6
16	市営住宅新西万木団地	安曇川町西万木	4,267.23	公営住宅	H16
17	新旭北小学校	新旭町饗庭	4,203.00	学校教育系施設	S43
18	介護老人保健施設「陽光の里」	勝野	4,043.89	保健・福祉施設	H9
19	安曇川総合体育館	安曇川町田中	3,930.00	スポーツ・レクリエーション系施設	S54
20	高島小学校	勝野	3,897.00	学校教育系施設	S39
21	アイリッシュパーク(高島公民館・ガリバーホール)	勝野	3,884.61	市民文化系施設	H5
22	青柳小学校	安曇川町青柳	3,798.00	学校教育系施設	S40
23	高島市民病院 健診棟	勝野	3,797.72	病院施設	H24
24	高島市民会館	今津町中沼	3,735.66	市民文化系施設	S55
25	高島中学校	勝野	3,687.00	学校教育系施設	S45
26	マキノ中学校	マキノ町蛭口	3,616.00	学校教育系施設	S42
27	本庄小学校	安曇川町南船木	3,367.00	学校教育系施設	H1
28	なのはな保育園、なのはな幼稚園	新旭町藁園	3,295.98	子育て支援施設	H16
29	さくら保育園、さくら幼稚園	新旭町饗庭	3,281.54	子育て支援施設	H14
30	朽木特別養護老人ホーム「やまゆりの里」・朽木デイサービスセンター	朽木市場	3,212.10	保健・福祉施設	H9
31	マキノ土に学ぶ里研修センター(マキノ公民館)	マキノ町蛭口	3,145.00	市民文化系施設	S56
32	安曇川公民館	安曇川町田中	3,144.39	市民文化系施設	H10
33	高島支所	勝野	3,139.61	行政系施設	S57
34	今津総合運動公園	今津町日置前	3,095.49	スポーツ・レクリエーション系施設	H4
35	ガリバー青少年旅行村	鹿ヶ瀬	3,012.90	レクリエーション・観光施設	S62

参考資料3 指定管理施設の状況

分類	番号	施設の名称	現・指定期間	指定管理料・納付金（単位：千円、「▲」は納付金）				
				H29年度 決算額	H30年度 決算額	R1年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 見込額
市民文化 系施設	1	今津東コミュニティセンター	H29.4.1～R4.3.31	12,435	12,786	9,618	12,566	12,592
	2	高島市働く女性の家	R2.4.1～R7.3.31	8,563	8,563	8,598	9,086	9,086
	3	弘川会館（今津学習等共用施設）	R3.4.1～R8.3.31	0	0	0	0	0
	4	高島横山集会所	R3.4.1～R8.3.31	0	0	0	0	0
	5	朽木惣田集会所	R3.4.1～R8.3.31	0	0	0	0	0
	6	高島市畑の棚田ふれあい交流施設	R3.4.1～R8.3.31	0	0	0	0	0
社会教育 系施設	7	高島市良知館	H30.4.1～R5.3.31	2,469	2,469	2,478	2,478	2,490
	8	高島市新旭水鳥観察センター	R3.4.1～R8.3.31	3,400	3,400	3,100	3,000	4,300
	9	おっきん棕川交流館	H31.4.1～R6.3.31	1,690	1,690	1,690	1,693	1,693
保健・福 祉施設	10	在宅介護サービスセンター「はあとふるマキノ」	H30.4.1～R5.3.31	▲ 1,095	▲ 970	▲ 970	▲ 970	▲ 970
	11	朽木特別養護老人ホーム「やまゆりの里」	H30.4.1～R5.3.31	▲ 3,877	▲ 2,179	▲ 2,179	▲ 2,179	▲ 2,179
	12	朽木デイサービスセンター						
	13	安曇川デイサービスセンター	H29.4.1～R4.3.31	▲ 470	▲ 470	▲ 470	▲ 2,048	▲ 2,048
	14	高島デイサービスセンター	H29.4.1～R4.3.31	▲ 1,870	▲ 1,870	▲ 1,870	▲ 1,870	▲ 1,870
	15	高島市新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」	H29.4.1～R4.3.31	▲ 7,340	▲ 7,340	▲ 7,340	▲ 7,340	▲ 7,340
	16	高島市安曇川障害者デイサービスセンター	R3.4.1～R8.3.31	5,100	5,100	5,147	5,194	5,430
	17	マキノ白谷温泉八王子荘	R1.6.1～R6.3.31	0	指定取消	▲ 270	▲ 310	▲ 320
スポーツ 施設	18	高島市健康の森梅ノ子運動公園	H29.4.1～R4.3.31	16,700	16,500	16,380	16,158	15,855
	19	高島市安曇川多目的グラウンド	H29.4.1～R4.3.31	260	260	261	263	263
	20	高島市高島B&G海洋センター	R3.4.1～R8.3.31	25,070	25,070	25,302	24,634	25,296
	21	高島市新旭森林スポーツ公園	R3.4.1～R8.3.31	9,600	9,600	9,677	9,755	8,800
	22	高島市今津総合運動公園	H30.4.1～R5.3.31	40,213	39,940	40,380	40,887	40,887
	23	高島市今津B&G海洋センター						
	24	高島市今津屋根付き運動場 サンルーフ今津						
	25	高島市今津山村広場						
26	高島市安曇川総合体育館	H31.4.1～R6.3.31	直営	直営	10,043	9,986	9,885	
レクリエー ション・観 光施設	27	体験交流センター ゆめの	H30.4.1～R5.3.31	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	28	加工実習館 手ほどき工房センバイ						
	29	赤坂平家族旅行村ビラデスト今津	H30.4.1～R5.3.31	▲ 1,955	▲ 2,500	▲ 2,500	▲ 1,910	▲ 1,910
	30	高島市マキノ農業公園施設（マキノピックランド）	R2.4.1～R7.3.31	1,574	1,574	1,602	▲ 567	▲ 567
	31	マキノ高原自然体験交流施設	H30.4.1～R5.3.31	▲ 300	▲ 500	▲ 500	▲ 300	▲ 300
	32	マキノ林間スポーツセンター	H31.4.1～R6.3.31	1,414	1,414	1,412	1,425	1,425
	33	高島市農林水産物直売・食材供給施設および処理加工施設（追坂峠：マキノ道の駅）	H31.4.1～R6.3.31	4,174	3,992	4,345	4,260	4,100
	34	今津ヴォーリズ資料館	H30.4.1～R5.3.31	2,294	2,400	2,400	2,400	2,400
	35	グリーンパーク想い出の森施設	H30.4.1～R5.3.31	▲ 1,000	▲ 1,400	▲ 1,400	▲ 1,200	▲ 1,200
	36	朽木新本陣	H30.4.1～R5.3.31	5,040	5,500	5,565	5,612	5,612
	37	朽木オートキャンプ場	H30.4.1～R5.3.31	▲ 500	▲ 250	▲ 250	▲ 250	▲ 250
	38	総合交流拠点施設 じゃっぴいらんど	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
	39	平良ふれあいセンター	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
	40	高島市針畑郷山村都市交流館「山帰来」	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
	41	高島市森林公園くつきの森	R3.4.1～R8.3.31	8,530	8,530	8,583	8,660	9,340
	42	丸八百貨店	H30.4.1～R5.3.31	1,533	1,591	1,591	1,591	1,591
	43	高島市道の駅施設「藤樹の里あどがわ」	R3.4.1～R8.3.31	▲ 17,000	▲ 17,000	▲ 17,000	▲ 16,200	▲ 17,000
	44	高島市ガリバー青少年旅行村	R3.4.1～R8.3.31	▲ 681	▲ 636	▲ 786	▲ 413	▲ 568
	45	うかわファームマート	H30.4.1～R5.3.31	0	930	944	968	968

分類	番号	施設の名称	現・指定期間	指定管理料・納付金（単位：千円、「▲」は納付金）				
				H29年度 決算額	H30年度 決算額	R1年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 見込額
産業系施設	46	高島市物産会館	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
	47	今津南浜中浜農業共同作業所	H29.4.1～R4.3.31	0	0	0	0	0
	48	高島市朽木針畑ルネッサンスセンター	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
	49	栃もちうまいもの館	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
	50	たいさんじ風花の丘	R3.4.1～R8.3.31	2,660	2,660	2,673	2,695	2,590
	51	高島市鶴川ふれあい農園	H30.4.1～R5.3.31	0	0	0	0	0
処分済	52	今津新田生活改善センター		0	0	0	譲渡	
	53	今津酒波多目的集会施設		0	譲渡			
	54	朽木荒川集会所		0	0	0	0	譲渡
	55	安曇川老人福祉センター		安曇川デイサービスセンターと相殺	安曇川デイサービスセンターと相殺	安曇川デイサービスセンターと相殺	廃止	
	56	マキノサニービーチ高木浜		譲渡				
	57	マキノサニービーチ知内浜		譲渡				
	58	琵琶湖周航の歌資料館		5,658	5,552	5,552	集約化	
	59	今津川尻農業共同作業所		0	0	譲渡		
	60	安曇川長尾共同集出荷施設		0	0	譲渡		
	61	安曇川三尾里農畜産物処理加工施設		0	0	0	譲渡	
	62	新旭井ノ口共同作業所		0	譲渡			
	63	新旭川原市粳調整施設共同作業所		0	0	譲渡		
	64	新旭針江粳調整施設共同作業所		0	0	譲渡		
	65	新旭北畑農業用集出荷施設		0	0	譲渡		
	66	新旭田井農機具格納庫		0	0	譲渡		

参考資料4 これまでの施設の処分状況

区分	No.	名称	延床面積	処分の方法	年度
市民文化系施設	1	朽木市場集会所	225.99 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	2	朽木野尻集会所	79.98 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	3	朽木麻生集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	4	朽木木地山集会所	40.22 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	5	朽木地子原集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	6	朽木雲洞谷集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	7	朽木能家集会所	54.88 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	8	朽木生杉集会所	81.13 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	9	朽木桑原集会所	65.15 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	10	朽木平良集会所	104.74 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	11	朽木小川集会所	74.33 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	12	朽木栃生農事集会所	90.30 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	13	朽木村井集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	14	朽木大野集会所	67.80 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	15	朽木古川集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	16	朽木岩瀬集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	17	朽木柏集会所	75.89 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	18	朽木宮前坊集会所	78.35 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	19	朽木上野集会所	81.38 m <sup>2</sup>	譲与	H26
	20	今津角川生活改善センター	199.87 m <sup>2</sup>	譲与	H27
	21	旧勤労青少年ホーム	665.05 m <sup>2</sup>	取壊し	H28
	22	旧新旭公民館(車庫含む。)	3,156.08 m <sup>2</sup>	取壊し	H28
	23	今津椋川多目的研修集会施設	102.50 m <sup>2</sup>	譲与	H29
	24	今津酒波多目的集会施設	242.95 m <sup>2</sup>	譲与	H30
	25	今津新田生活改善センター	158.67 m <sup>2</sup>	譲与	R2
	26	朽木荒川集会所	137.30 m <sup>2</sup>	譲与	R3
社会教育系施設	27	マキノ土に学ぶ里研修センター保存民家	81.50 m <sup>2</sup>	取壊し	H22
	28	今津椋川天体観測施設山の子天文台トイレ棟	21.15 m <sup>2</sup>	取壊し	H23
	29	文化財収蔵庫(安曇川)	142.04 m <sup>2</sup>	取壊し	H26
	30	文化財収蔵庫(拝戸)	145.93 m <sup>2</sup>	取壊し	H26
	31	文化財収蔵庫(旧今津東体育館)	827.08 m <sup>2</sup>	取壊し	H28
	32	文化財収蔵庫(旧新旭公民館横)	80.30 m <sup>2</sup>	取壊し	H28
スポーツ施設	33	今津角川農村公園	—	譲与	H30
レクリエーション・観光施設	34	朽木スキー場避難所(兼休憩所)	99.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H20
	35	朽木栃生休憩所	58.60 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	36	萩の浜旧川口屋別館	164.45 m <sup>2</sup>	取壊し	H22
	37	萩の浜旧井口家別館	465.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H22
	38	近江白浜便所	36.52 m <sup>2</sup>	譲与	H24
	39	三ツ石休憩所(トイレ)	24.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H25
	40	蛇子谷休憩所(トイレ)	5.04 m <sup>2</sup>	取壊し	H26
	41	旧マキノ自然休養村管理センター	525.92 m <sup>2</sup>	取壊し	H28
	42	旧今津荘レストハウス	245.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H30
	43	マキノサニービーチ高木浜	373.90 m <sup>2</sup>	譲与	H30
	44	マキノサニービーチ知内浜	419.98 m <sup>2</sup>	譲与	H30
	45	新旭風車村公園	915.78 m <sup>2</sup>	取壊し	H30
	46	青少年自然体験施設椋川山の子学園(天文台除く。)	429.49 m <sup>2</sup>	取壊し	H30

区分	No.	名称	延床面積	処分の方法	年度
産業系施設	47	安曇川上古賀農業共同作業所	313.00 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	48	安曇川下古賀農業共同作業所	252.00 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	49	安曇川南古賀農業共同作業所	194.40 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	50	安曇川伏原農機具格納庫	75.00 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	51	安曇川北出農機具格納庫	100.00 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	52	新旭熊野本農事共同作業所	200.00 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	53	新旭旭農業用集出荷施設	103.68 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	54	新旭藁園農作業準備休養施設	24.50 m <sup>2</sup>	譲与	H19
	55	安曇川上古賀鮎蓄養池	46.78 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	56	高島市朽木林業者等活動拠点集会所	58.21 m <sup>2</sup>	有償譲渡	H24
	57	今津弘川農業共同作業所	357.00 m <sup>2</sup>	譲与	H25
	58	上古賀農民研修センター	227.91 m <sup>2</sup>	譲与	H25
	59	安曇川上古賀農機具格納庫	170.20 m <sup>2</sup>	譲与	H29
	60	安曇川庄塚農業構造改善センター	165.34 m <sup>2</sup>	譲与	H29
	61	能家炭焼き小屋	49.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H29
	62	新旭井ノ口共同作業所	171.25 m <sup>2</sup>	譲与	H30
	63	今津川尻農業共同作業所	225.11 m <sup>2</sup>	譲与	R1
	64	安曇川長尾共同集出荷施設	116.00 m <sup>2</sup>	譲与	R1
	65	新旭針江糶調整施設共同作業所	172.23 m <sup>2</sup>	譲与	R1
	66	新旭北畑農業用集出荷施設	140.00 m <sup>2</sup>	譲与	R1
67	新旭川原市糶調整施設共同作業所	76.34 m <sup>2</sup>	譲与	R1	
68	新旭田井農機具格納庫	164.51 m <sup>2</sup>	譲与	R1	
69	安曇川三尾里農畜物処理加工施設	195.70 m <sup>2</sup>	譲与	R2	
70	今津魚揚場	131.00 m <sup>2</sup>	取壊し	R3	
学校教育系施設	71	旧高島第3小学校(講堂等)	294.21 m <sup>2</sup>	取壊し	H22
	72	朽木西小学校平良分校	477.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H29
	73	旧ALT宿舎(朽木)	49.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H30
子育て支援施設	74	くすのき保育園	709.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H17
	75	安曇川下古賀児童体育施設	188.80 m <sup>2</sup>	譲与	H24
	76	安曇川長尾児童体育施設	104.40 m <sup>2</sup>	譲与	H24
	77	旧新旭幼稚園	1,323.37 m <sup>2</sup>	譲与	H25
保健・福祉施設	78	安曇川南古賀老人憩いの家	76.04 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	79	安曇川沖田老人憩いの家	78.90 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	80	安曇川中野老人憩いの家	65.90 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	81	安曇川長尾老人憩いの家	42.12 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	82	安曇川泰山寺老人憩いの家	86.48 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	83	安曇川竹の里老人憩いの家	69.76 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	84	安曇川伏原老人憩いの家	63.00 m <sup>2</sup>	譲与	H17
	85	武曾老人憩の家	110.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H20
	86	鴨老人憩の家	119.35 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	87	マキノ老人憩の家	311.23 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	88	北船木老人憩の家	100.62 m <sup>2</sup>	譲与	H21
	89	高島老人福祉センター	825.56 m <sup>2</sup>	取壊し	H24
	90	今津あいあいタウン地域交流センター	1,376.75 m <sup>2</sup>	有償譲渡	R2
	91	安曇川老人福祉センター	599.26 m <sup>2</sup>	取壊し	R2



区分	No.	名称	延床面積	処分の方法	年度
行政系施設	92	今津支所分館	1,015.99 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	93	今津支所南別館	268.02 m <sup>2</sup>	取壊し	H22
	94	マキノ支所(一部)	230.46 m <sup>2</sup>	取壊し	H29
	95	旧今津支所	1,584.23 m <sup>2</sup>	取壊し	H29
	96	マキノ文書庫(旧公民館)	613.63 m <sup>2</sup>	取壊し	H30
	97	旧市役所別館	2,042.37 m <sup>2</sup>	取壊し	R2
	98	旧安曇川支所(教育委員会)	2,763.68 m <sup>2</sup>	取壊し	R2
公営住宅	99	市営住宅 旧西万木住宅	1,256.46 m <sup>2</sup>	取壊し	H18
	100	市営住宅 平ヶ崎団地(一部)	125.60 m <sup>2</sup>	取壊し	H18
	101	市営住宅 堀川団地(一部)	145.70 m <sup>2</sup>	取壊し	H18
	102	市営住宅 出鴨団地(一部)	73.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H18
	103	市営住宅 市ヶ崎団地(一部)	191.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H19
	104	市営住宅 天神団地(一部)	160.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H19
	105	市営住宅 天神団地(一部)	120.80 m <sup>2</sup>	取壊し	H20
	106	市営住宅 堀川団地(一部)	132.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H20
	107	市営住宅 天神団地(一部)	470.80 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	108	市営住宅 米井団地(一部)	92.20 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	109	市営住宅 船木(旧)団地(一部)	86.20 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	110	市営住宅 天井前団地(一部)	109.50 m <sup>2</sup>	取壊し	H21
	111	市営住宅 天神団地(一部)	314.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H23
	112	市営住宅 上野第2団地(一部)	219.12 m <sup>2</sup>	取壊し	H23
	113	市営住宅 市ヶ崎団地(一部)	397.20 m <sup>2</sup>	取壊し	H24
	114	市営住宅 天神団地(一部)	342.60 m <sup>2</sup>	取壊し	H24
	115	市営住宅 船木(旧)団地	28.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H24
	116	市営住宅 天神団地(一部)	334.50 m <sup>2</sup>	取壊し	H25
	117	市営住宅 市ヶ崎団地(一部)	109.50 m <sup>2</sup>	取壊し	H25
	118	市営住宅 船木団地(一部)	97.14 m <sup>2</sup>	取壊し	H25
119	市営住宅 船木団地(一部)	96.60 m <sup>2</sup>	取壊し	H27	
120	市営住宅 上野第2団地(一部)	511.28 m <sup>2</sup>	取壊し	H28	
121	市営住宅 五十川団地(一部)	522.60 m <sup>2</sup>	取壊し	H29	
122	市営住宅 堀川団地(一部)	62.20 m <sup>2</sup>	取壊し	H29	
123	市営住宅 天神団地(一部)	277.50 m <sup>2</sup>	取壊し	H30	
124	市営住宅 天井前団地(一部)	148.40 m <sup>2</sup>	取壊し	H30	
125	市営住宅 天井前団地(一部)	708.70 m <sup>2</sup>	取壊し	R1	
126	市営住宅 五十川団地	971.33 m <sup>2</sup>	取壊し	R1	
127	市営住宅 天井前団体	593.66 m <sup>2</sup>	取壊し	R2	
128	市営住宅 船木団地	265.06 m <sup>2</sup>	取壊し	R2	
公園	129	陽明亭	19.00 m <sup>2</sup>	取壊し	H30
	130	萬木公園(休憩所)	21.60 m <sup>2</sup>	取壊し	R1
供給処理施設	131	旧新旭可燃性ごみ焼却施設	117.73 m <sup>2</sup>	取壊し	H19
その他	132	天神雑品倉庫	273.80 m <sup>2</sup>	取壊し	H24
	133	旧朽木診療所(倉庫)	349.40 m <sup>2</sup>	取壊し	R2
	134	旧今津南浜分室(倉庫)	366.41 m <sup>2</sup>	取壊し	R2
合計			40,745.02 m <sup>2</sup>		

# 高島市公共施設等総合管理計画

平成 27 年(2015 年) 3 月 策定

令和 4 年(2022 年) 3 月 改訂

高島市行財政改革推進本部

(事務局：総務部行財政改革推進局行財政改革課)